LIXIL SHINNIKKEI

施工説明書番号	ME-2148

改－2

エクジスフェンス R5K 型（傾斜タイプ）

施工説明書

●この度は、当社製品をご採用いただき誠にありがとうございます。商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この施工説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
●本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
●施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
●この説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

●本商品は、傾斜地専用の形材フェンスです。
●傾斜地用フェンスと連結する平地用フェンスについては、施工説明書 [ME-2143] および [ME-2144] を参照してください。

注意事項

施工にあたっては次の点をご注意ください。

◎設置場所・位置について

●ガス給湯器などの熱や排気ガスが製品に直接当たる、またはこもるような場所に設置しないでください。熱による塗装劣化・剥離（はくり）、また排気ガスによる腐食の原因になります。

◎施工時の注意事項

●モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
●モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
●アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
●腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
●埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
●モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
●ブロック施工には重量ブロック JISA5406 区分 16（C 種）以上を使用してください。高さ 1200 風速 38m/s の場合は、12cm ブロック以上を使用してください。
●ブロック塀の総高さ（フェンス含む）は 2.2m を超えないように施工してください。
●フェンス柱はブロックの中心に設置してください。
●施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
●輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
●支柱の水抜き穴はモルタル等で塞がないでください。
●風当りの強い場所にフェンスを設置する場合は、自在柱式納まりで柱間隔を 1000mm 以内にしてください。
●屋上や沿岸に面した非常に風当りの強い場所等には設置しないでください。
●養生期間は十分（４日～１週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
●改造・変更をしないでください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。	❗	「必ず行っていただくこと」を示しています。

⚠注意

●本体に乗ったり、揺すったり、腰掛けたりしないでください。
●商品をみだりに改造、変更しないでください。
●本商品は隣地境界等の目的に設置するものです。防護柵や手すり等に使用しないでください。
●雨具・洗濯物・布団等を載せないでください。
●商品に電線等を直接載せないでください。

もくじ

梱包明細 2
施工前の確認 3
納まり図 4
1．柱の設置 7
　1－1自在柱の調整 7
　1－2柱の設置 8
　1－3傾斜用下部ブラケットの仮止め 8
2．傾斜部材の切断（※傾斜角度違い納まり・コーナー自在納まりの場合） 9
　2－1傾斜部材の切断 9
　　2-1-1切断前の確認 9
　　2-1-2標準の場合 9
　　2-1-3下部ふさぎ板付きの場合 10
　2－2ジョイント部材の切断 10
　2－3傾斜部材の組立て 11
3．フェンス取付前の作業 12
　3－1上・下胴縁の切断 12
　3－2縦桟の切断 13
4a．フェンスの取付け（※１段用の場合） 13
　4a－1平地用フェンスの施工 13
　4a－2フェンスの取付け 14
　4a－3フェンスの連結（※傾斜角度が一定の場合） 17
　4a－4柱キャップの取付け 17
4b．フェンスの取付け（※２・３段用の場合） 18
　4b－1平地用フェンスの施工 18
　4b－2フェンスの取付け 18
5．エンドカバーの取付け（※傾斜地用フェンスが端部になる場合） 21
　5－1エンドカバーの切断 21
　　5-1-1切断前の確認 21
　　5-1-2標準の場合 21
　　5-1-3下部ふさぎ板付きの場合 21
　5－2エンドカバーの 取付け 22
6．フェンス取付後の作業 22
　6－1長孔ふさぎの取付け 22
　6－2ビスの本締め 22
7．フェンスの切詰め 23
　7－1フェンスの切詰め 23
　7－2端部カバーの取付け（※オプション） 24
■施工工事店様、販売店様へのお願い 24

梱包明細

●施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
●説明書に記載している部材・部品 (ビス含) 以外は使用しないでください。

梱包名称		梱包内容 ※表内の（　）は個数を表しています。	
フェンス本体		フェンス本体（1）	
傾斜地用自在柱	1 段用	傾斜地用自在柱（1）	
		柱セット部品	上部ブラケット（1）・傾斜用下部ブラケット（1）・M5 × 10 トラス小ネジ（1） 1 段自在柱用キャップ（1）・ジョイントスリーブ（2）・φ 4 × 10 トラスタッピン 3 種（5） ジョイントリング（上・下各 1）・φ 5 × 16 セルフドリリングビス（1）・施工説明書 [ME-2148]（1）
	2 段用	傾斜地用自在柱（1）	
		柱セット部品	上部ブラケット（1）・中間ブラケット（1）・傾斜用下部ブラケット（1）・M5 × 10 トラス小ネジ（3） ジョイントスリーブ（4）・φ 4 × 10 トラスタッピン 3 種（8）・目隠し材（1） ジョイントリング（上・下各 2）・回転裏板（3）・施工説明書 [ME-2148]（1）
	3 段用	傾斜地用自在柱（1）	
		柱セット部品	上部ブラケット（1）・中間ブラケット（2）・傾斜用下部ブラケット（1）・M5 × 10 トラス小ネジ（3） ジョイントスリーブ（6）・φ 4 × 10 トラスタッピン 3 種（12）・目隠し材（2） ジョイントリング（上・下各 3）・回転裏板（4）・施工説明書 [ME-2148]（1）
傾斜部材（2 次元）	1 段用	傾斜部材（左・右各 1）・連結ジョイナー（1）	
		セット部品	傾斜部材キャップ（4）・φ 4 × 25 トラスタッピン 2 種（8）・M4 用平座金（4）・長孔ふさぎ（4） エンドキャップ（上・下各 1）・φ 4 × 16 トラスタッピン 1 種（2） φ 4 × 16 セルフドリリングビス（4） 切詰め用ビスセット（1）[φ 5 × 8 トラスタッピン 3 種（4）・φ 4 × 8 トラスタッピン 3 種（21）]
	2 段用	傾斜部材（左・右各 1）・連結ジョイナー（1）	
		セット部品	傾斜部材キャップ（4）・φ 4 × 25 トラスタッピン 2 種（8）・M4 用平座金（8）・長孔ふさぎ（8） エンドキャップ（上・下各 2）・φ 4 × 16 トラスタッピン 1 種（4） φ 4 × 16 セルフドリリングビス（8） 切詰め用ビスセット（1）[φ 5 × 8 トラスタッピン 3 種（8）・φ 4 × 8 トラスタッピン 3 種（41）]
	3 段用	傾斜部材（左・右各 1）・連結ジョイナー（1）	
		セット部品	傾斜部材キャップ（4）・φ 4 × 25 トラスタッピン 2 種（8）・M4 用平座金（12）・長孔ふさぎ（12） エンドキャップ（上・下各 3）・φ 4 × 16 トラスタッピン 1 種（6） φ 4 × 16 セルフドリリングビス（12） 切詰め用ビスセット（1）[φ 5 × 8 トラスタッピン 3 種（12）・φ 4 × 8 トラスタッピン 3 種（61）]
傾斜部材（3 次元）	1 段用	傾斜部材（左・右各 1）・コーナー連結ジョイナー（2）・目隠しコーナーヒンジ（1）	
		セット部品	傾斜部材キャップ（4）・ヒンジキャップ（2）・φ 4 × 25 トラスタッピン 2 種（12） M4 用平座金（8）・長孔ふさぎ（4）・エンドキャップ（上・下各 1） φ 4 × 16 トラスタッピン 1 種（2）・φ 4 × 16 セルフドリリングビス（4） 切詰め用ビスセット（1）[φ 5 × 8 トラスタッピン 3 種（4）・φ 4 × 8 トラスタッピン 3 種（21）]
	2 段用	傾斜部材（左・右各 1）・コーナー連結ジョイナー（2）・目隠しコーナーヒンジ（1）	
		セット部品	傾斜部材キャップ（4）・ヒンジキャップ（2）・φ 4 × 25 トラスタッピン 2 種（12） M4 用平座金（12）・長孔ふさぎ（8）・エンドキャップ（上・下各 2） φ 4 × 16 トラスタッピン 1 種（4）・φ 4 × 16 セルフドリリングビス（8） 切詰め用ビスセット（1）[φ 5 × 8 トラスタッピン 3 種（8）・φ 4 × 8 トラスタッピン 3 種（41）]
	3 段用	傾斜部材（左・右各 1）・コーナー連結ジョイナー（2）・目隠しコーナーヒンジ（1）	
		セット部品	傾斜部材キャップ（4）・ヒンジキャップ（2）・φ 4 × 25 トラスタッピン 2 種（12） M4 用平座金（16）・長孔ふさぎ（12）・エンドキャップ（上・下各 3） φ 4 × 16 トラスタッピン 1 種（6）・φ 4 × 16 セルフドリリングビス（12） 切詰め用ビスセット（1）[φ 5 × 8 トラスタッピン 3 種（12）・φ 4 × 8 トラスタッピン 3 種（61）]
エンドカバー	1 段用	エンドカバー（1）	
		セット部品	傾斜部材キャップ（2）・φ 4 × 25 トラスタッピン 2 種（4）・M4 用平座金（2） 長孔ふさぎ（2）・φ 4 × 16 セルフドリリングビス（2） 切詰め用ビスセット（1）[φ 5 × 8 トラスタッピン 3 種（4）・φ 4 × 8 トラスタッピン 3 種（21）]
	2 段用	エンドカバー（1）	
		セット部品	傾斜部材キャップ（2）・φ 4 × 25 トラスタッピン 2 種（4）・M4 用平座金（4） 長孔ふさぎ（4）・φ 4 × 16 セルフドリリングビス（4） 切詰め用ビスセット（1）[φ 5 × 8 トラスタッピン 3 種（8）・φ 4 × 8 トラスタッピン 3 種（41）]
	3 段用	エンドカバー（1）	
		セット部品	傾斜部材キャップ（2）・φ 4 × 25 トラスタッピン 2 種（4）・M4 用平座金（6） 長孔ふさぎ（6）・φ 4 × 16 セルフドリリングビス（6） 切詰め用ビスセット（1）[φ 5 × 8 トラスタッピン 3 種（12）・φ 4 × 8 トラスタッピン 3 種（61）]

●別売品

梱包名称	梱包内容 ※表内の（　）は個数を表しています。
端部カバー※1	縦桟 A（左・右各 1）

※ 1：1 枚のフェンスを切断し 2 枚に分けて使用する場合に使用します。

施工前の確認

●施工前に確認してください。

フェンス本体について

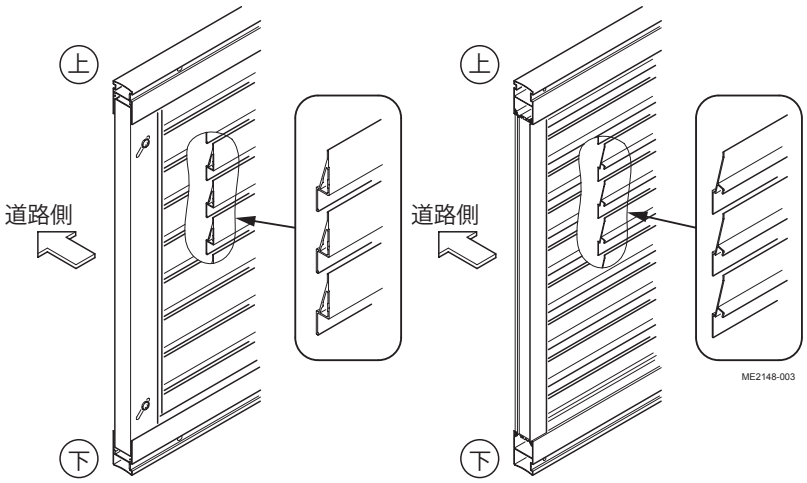
●フェンス本体には上下・表裏の区別があります。間違えないようにしてください。

> R5K 型は、平地用フェンスとしても使用することができます。

> 平地用フェンスの施工については、「形材フェンス」の施工説明書 [ME-2143] を参照してください。

●傾斜地用フェンス
（エクジスフェンス R5K 型）

●平地用フェンス
（エクジスフェンス R5 型）

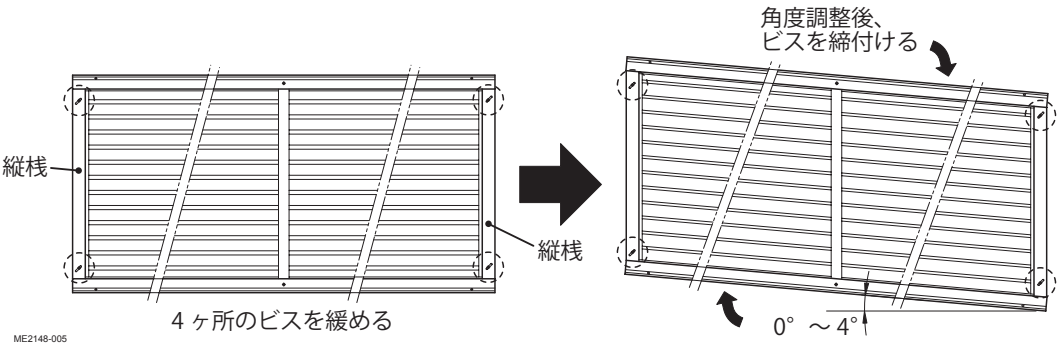


R5K 型の施工について

> R5K 型は傾斜角度 0°～40°まで施工可能です。

傾斜角度 0°～4°の場合

●縦桟を固定しているビスを緩めて、フェンス本体を傾斜させてください。

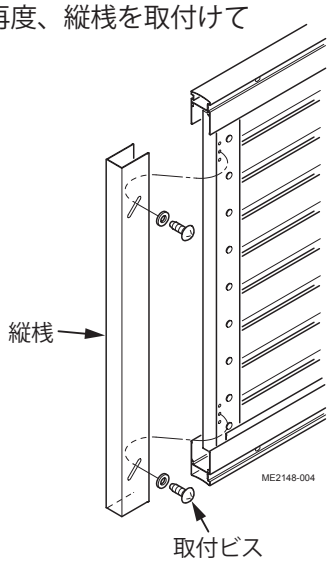


傾斜角度 5°～40°の場合

●縦桟の切断が必要になります。「3-2. 縦桟の切断」を参照してください。

●縦桟を取外し、フェンス本体を傾斜させてください。

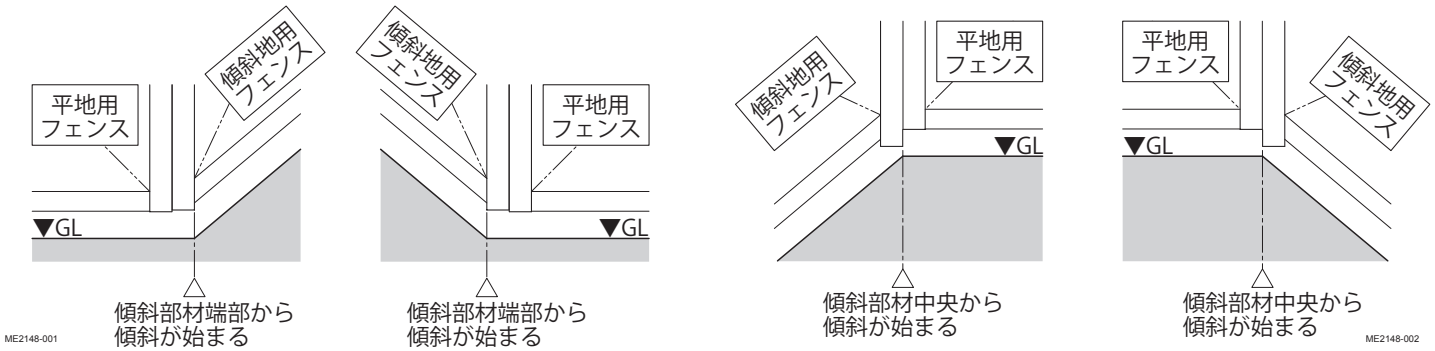
●角度調整後、再度、縦桟を取付けてください。



傾斜部材と GL ラインについて

●平地～上り傾斜に連結する場合は、GL ラインと傾斜部材の位置は下図のようになります。

●平地～下り傾斜に連結する場合は、GL ラインと傾斜部材の位置は下図のようになります。

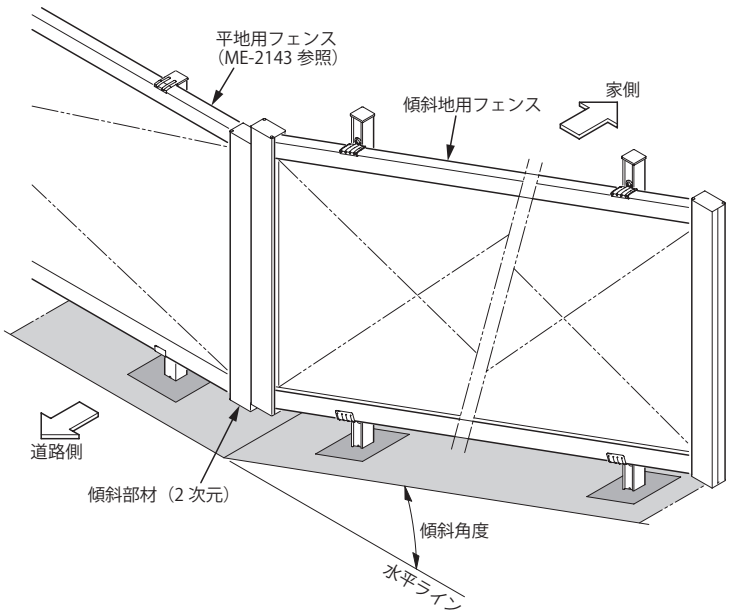


納まり図

●施工前に確認してください。
●傾斜角度は 0 ～ 40°まで施工可能です。

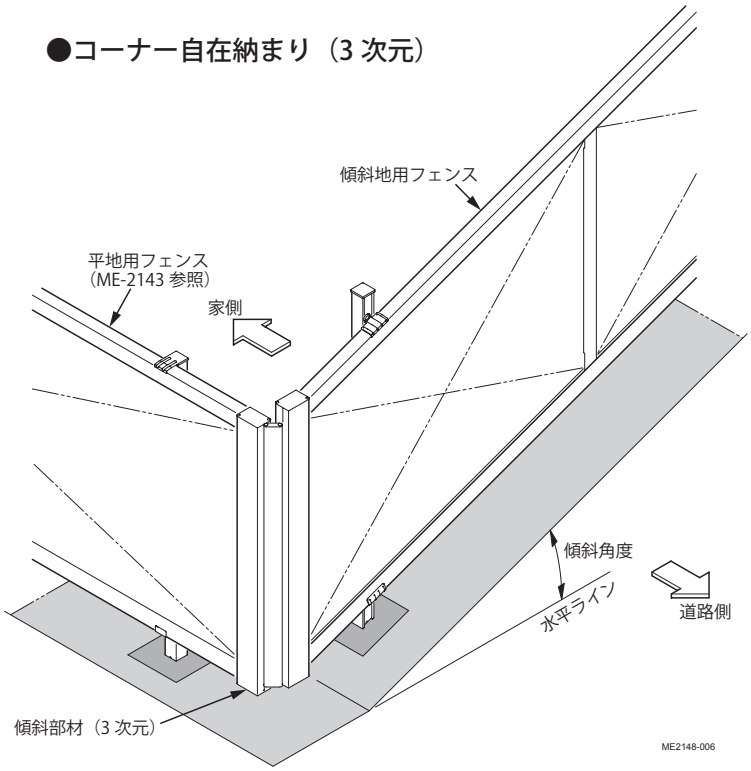
納まりの種類

●傾斜角度違い納まり（2 次元）



傾斜地用フェンスには、下記の平地用フェンスを連結することができます。
・「エクジスフェンス R シリーズ（R5M 型を除く）」

●コーナー自在納まり（3 次元）

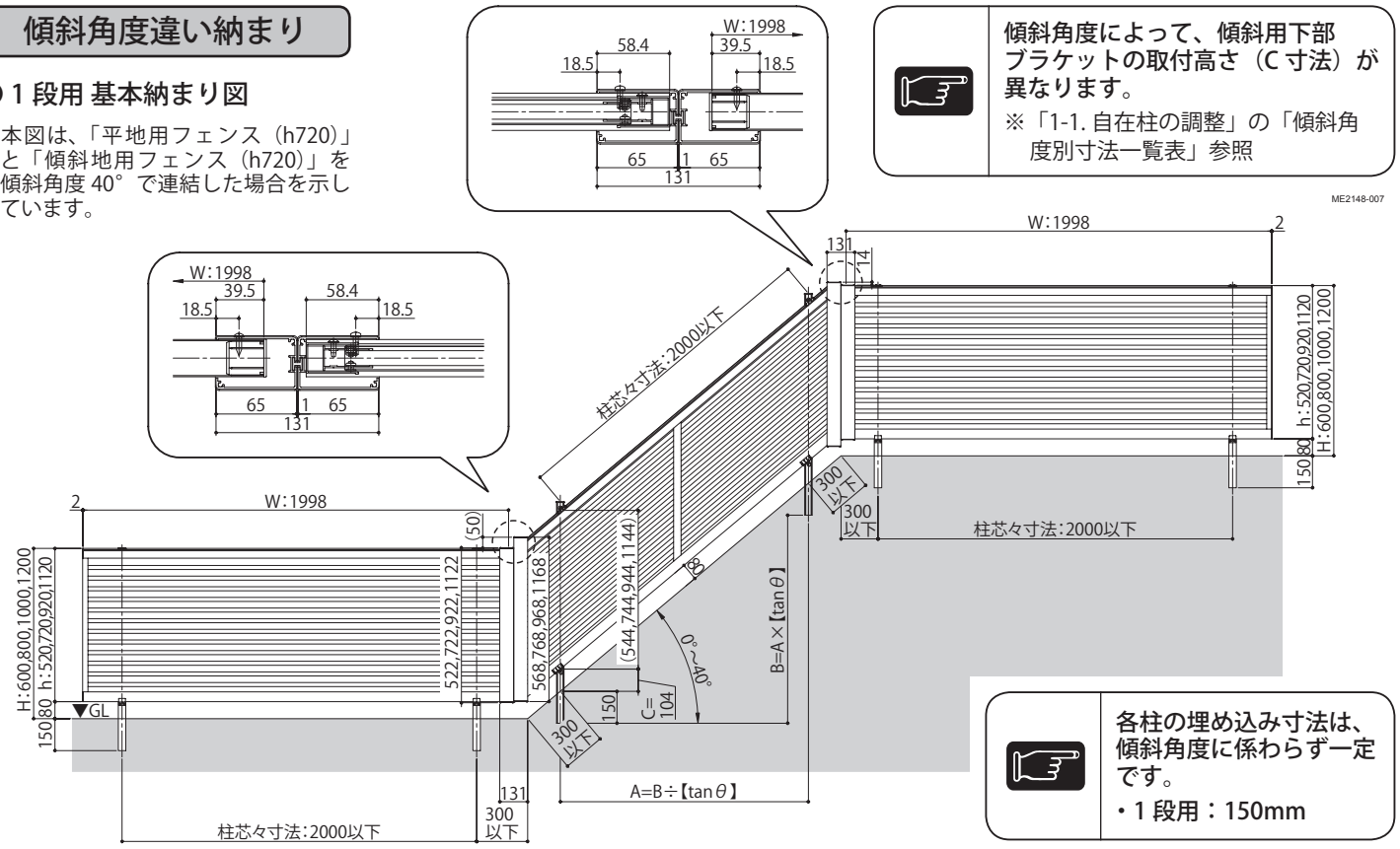


傾斜角度違い納まり

● 1 段用 基本納まり図

※本図は、「平地用フェンス（h720）」と「傾斜地用フェンス（h720）」を傾斜角度 40°で連結した場合を示しています。

傾斜角度によって、傾斜用下部ブラケットの取付高さ（C 寸法）が異なります。
※「1-1. 自在柱の調整」の「傾斜角度別寸法一覧表」参照



各柱の埋め込み寸法は、傾斜角度に係わらず一定です。
・1 段用：150mm

● 2 段用 基本納まり図

※本図は、「平地用フェンス（h920）」と「傾斜地用フェンス（h920）」を傾斜角度 40°・2 段納まりで連結した場合を示しています。

傾斜角度によって、傾斜用下部ブラケットの取付高さ（C 寸法）が異なります。

※「1-1. 自在柱の調整」の「傾斜角度別寸法一覧表」参照

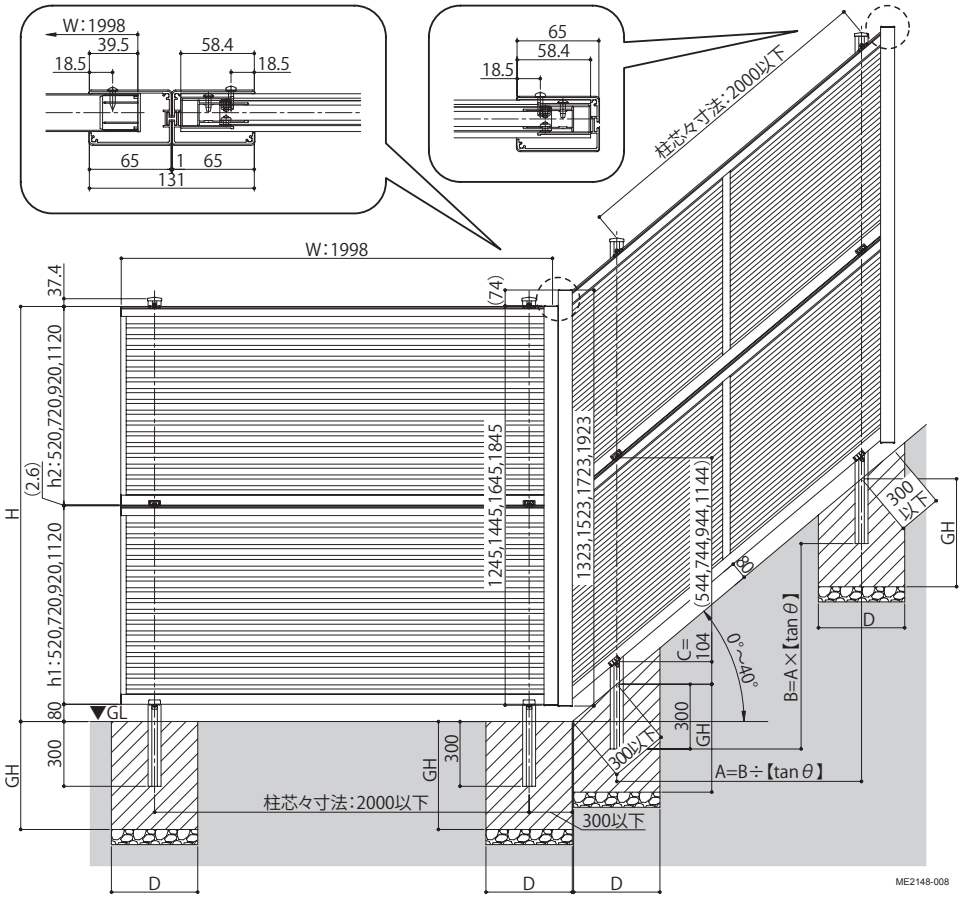
●基礎寸法表

(mm)

呼称サイズ	基礎：D ×深さ：GH
H14	□ 350 × 600
H16	□ 400 × 600
H18	□ 500 × 600
H20	□ 550 × 600

各柱の埋め込み寸法は、傾斜角度に係わらず一定です。

・2 段用：300mm



● 3 段用 基本納まり図

※本図は、「平地用フェンス（h920）」と「傾斜地用フェンス（h920）」を傾斜角度 40°・3 段納まりで連結した場合を示しています。

傾斜角度によって、傾斜用下部ブラケットの取付高さ（C 寸法）が異なります。

※「1-1. 自在柱の調整」の「傾斜角度別寸法一覧表」参照

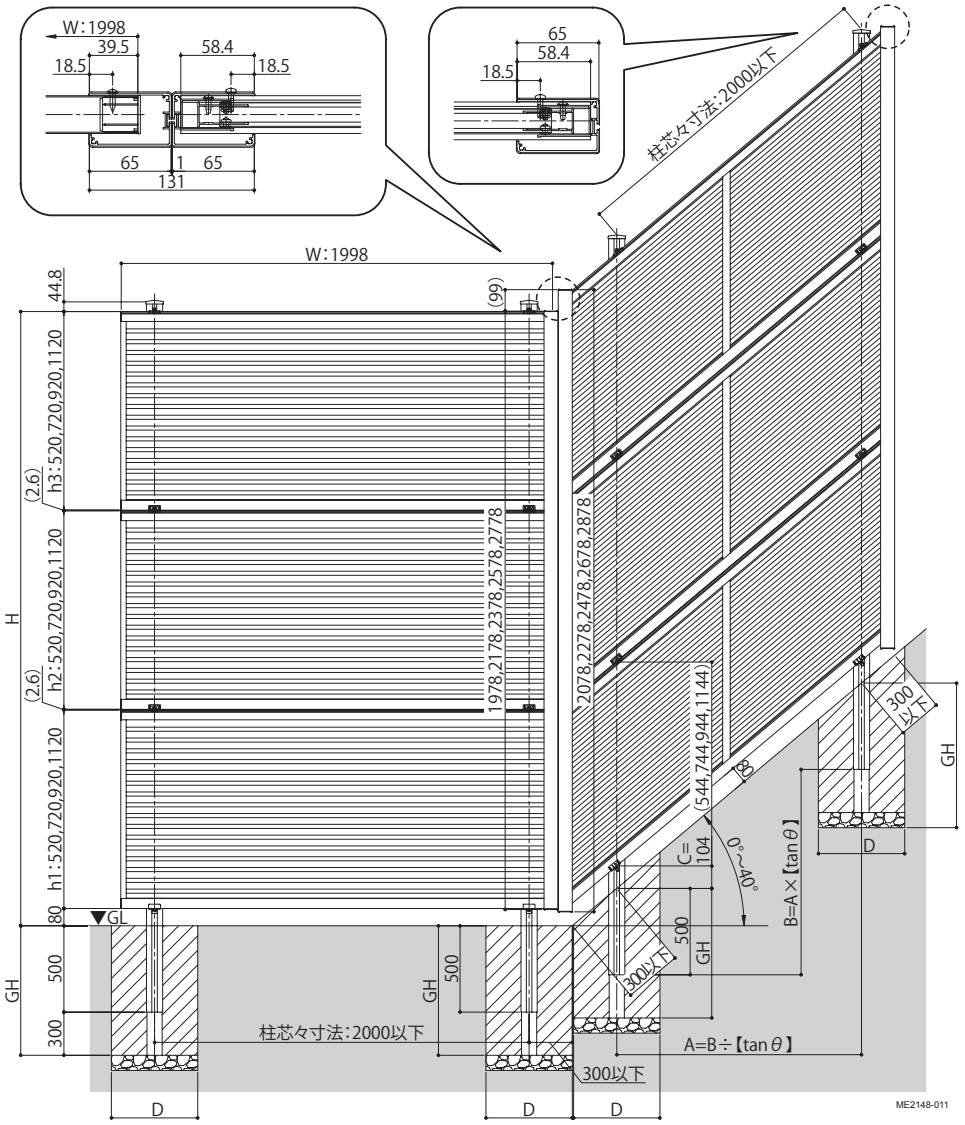
●基礎寸法表

(mm)

呼称サイズ	基礎：D ×深さ：GH
H21	□ 450 × 800
H23	□ 500 × 800
H25	□ 550 × 800
H27	□ 600 × 800
H29	□ 650 × 800

各柱の埋め込み寸法は、傾斜角度に係わらず一定です。

・3 段用：800mm

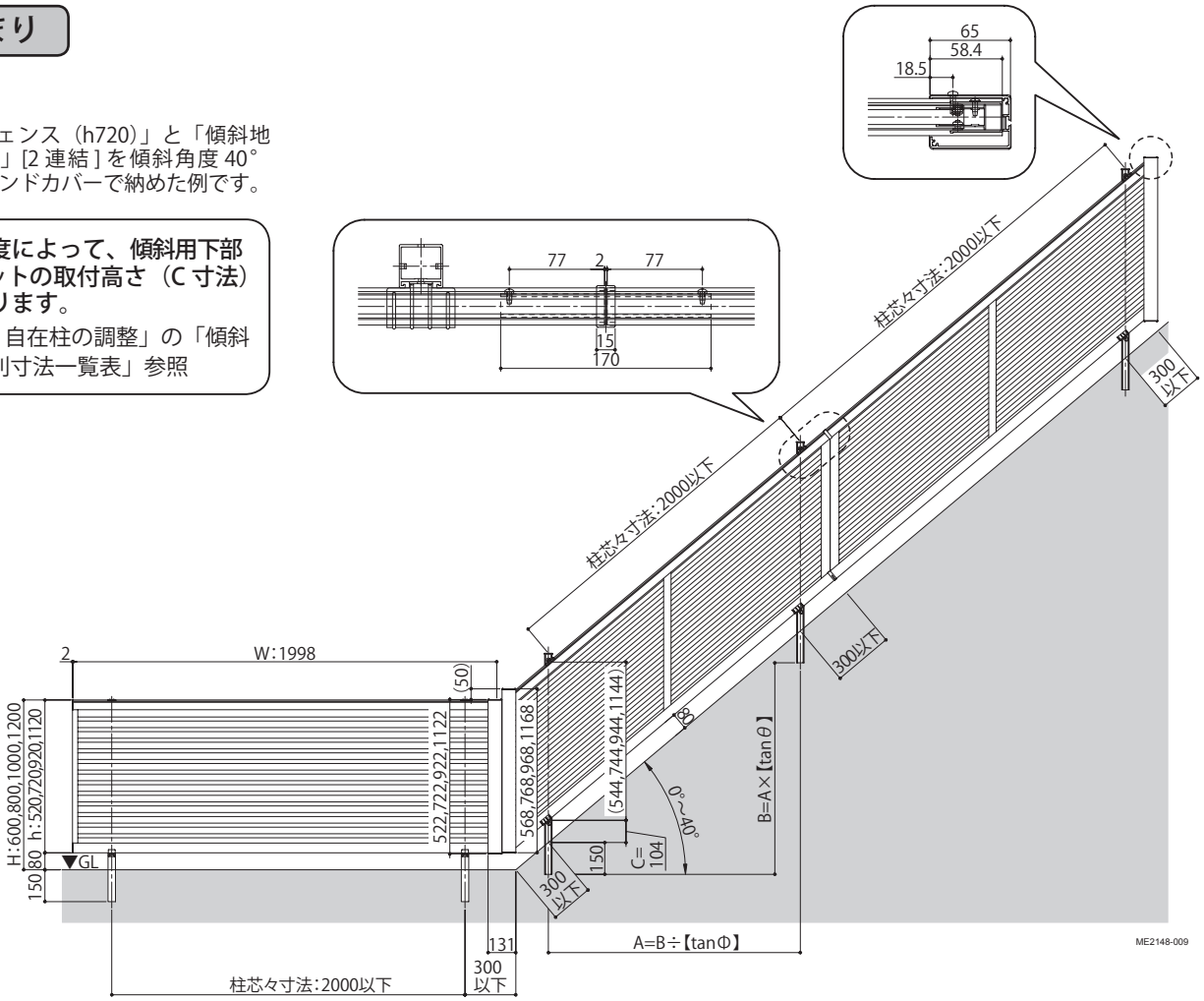


傾斜連結納まり

●基本納まり図

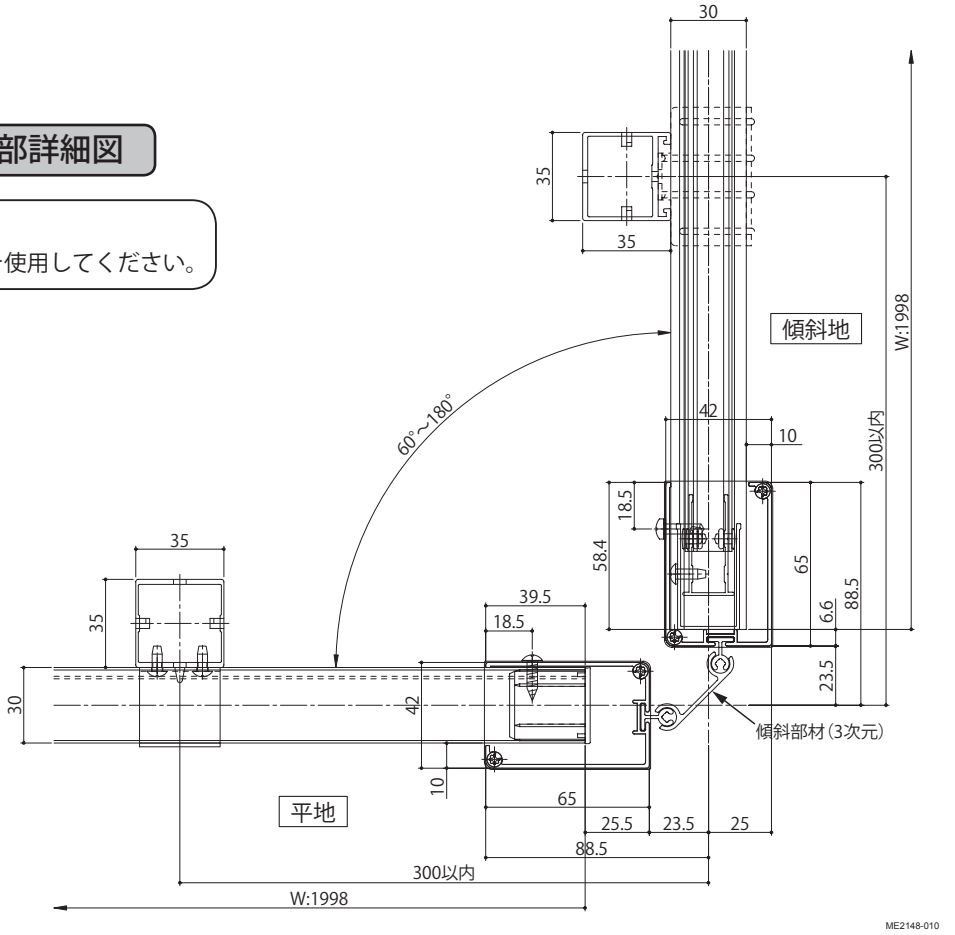
※本図は、「平地用フェンス（h720）」と「傾斜地用フェンス（h720）」[2 連結] を傾斜角度 40°で連結し、端部をエンドカバーで納めた例です。

傾斜角度によって、傾斜用下部ブラケットの取付高さ（C 寸法）が異なります。
※「1-1. 自在柱の調整」の「傾斜角度別寸法一覧表」参照



コーナー自在納まり・コーナー部詳細図

施工可能範囲：60°～180°
※連結部に、傾斜部材（3 次元）を使用してください。



1 柱の設置

●「納まり図」で寸法を確認してください。
●柱の位置とレベルを正確に合わせてください。

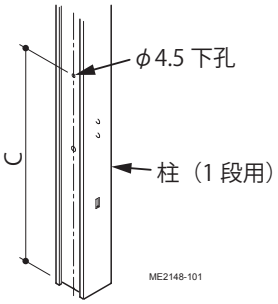
1－1 自在柱の調整

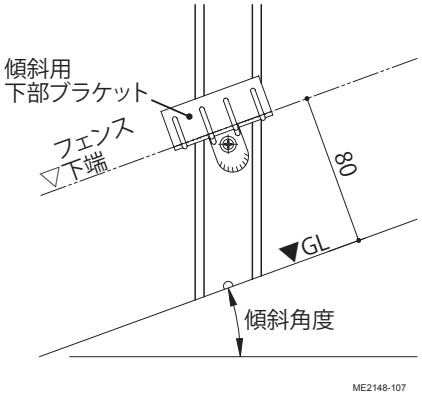
1段用の場合

①右図を参照して、柱に傾斜用下部ブラケット取付用のφ 4.5mm の下孔をあけてください。

> **傾斜角度によって、傾斜用下部ブラケットの取付高さが異なります。**
> ※下表参照。

> **下表に合わせると、GL 面とフェンス下面との距離が 80mm にすることができます。**



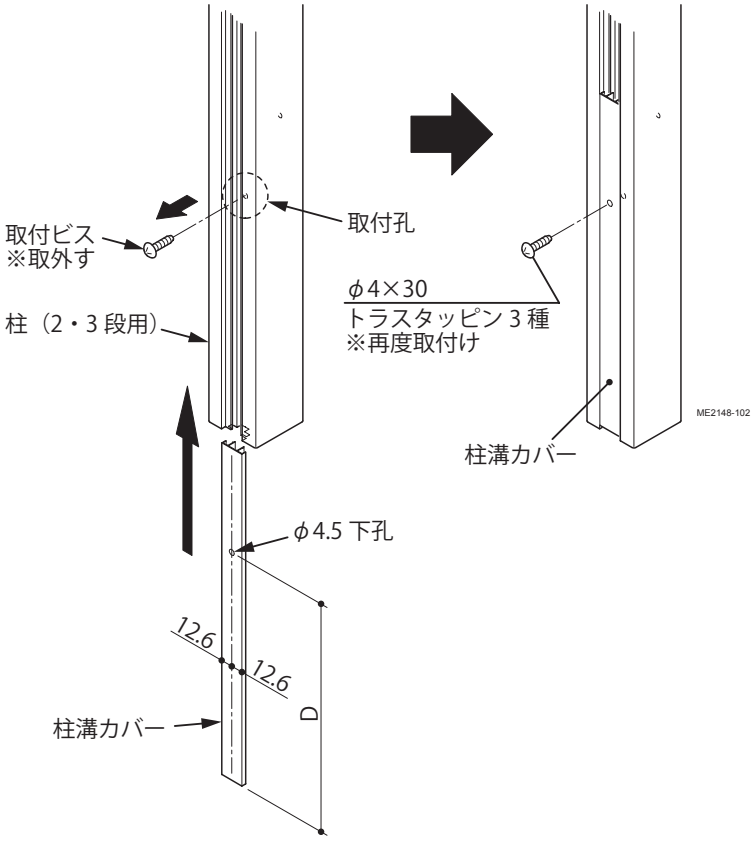


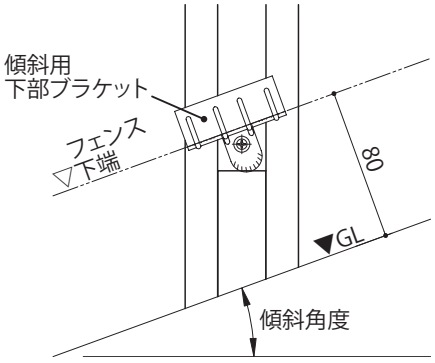
2・3段用の場合

①柱溝カバーをスライドさせて、取付ビスを柱から取外してください。

> **●出荷時、柱溝カバーは結束テープで固定されています。**
> **●取付ビス（φ 4×30 トラスタッピン3種）は柱に仮止めされています。**

> **下表に合わせると、GL 面とフェンス下面との距離が 80mm にすることができます。**





②右図を参照して、柱溝カバーにφ 4.5mm の孔をあけてください。

③「手順①」の取付ビスを使用し、柱溝カバーを柱に固定してください。

●傾斜角度別寸法一覧表

(mm)

傾斜角度（θ）	C	D	傾斜角度（θ）	C	D	傾斜角度（θ）	C	D	傾斜角度（θ）	C	D
0°～6°	221.5	250	18°～19°	225.5	247	28°	230.5	241	35°	237.5	235
7°～9°	222.5	250	20°～21°	226.5	246	29°	231.5	240	36°	238.5	233
10°～11°	222.5	249	22°～23°	227.5	245	30°	232.5	239	37°	239.5	232
12°～13°	223.5	249	24°	228.5	244	31°	233.5	239	38°	240.5	231
14°	223.5	248	25°	228.5	243	32°	234.5	238	39°	242.5	230
15°～16°	224.5	248	26°	229.5	243	33°	235.5	237	40°	243.5	228
17°	224.5	247	27°	230.5	242	34°	236.5	236			

1－2 柱の設置

①「納まり図」で柱の位置や基礎寸法・レベルを確認し、柱を設置してください。

●柱位置：端部・傾斜角度違い連結部より 300mm 以内

※ただし、傾斜部材の見付寸法部には柱を設置することはできません。

●柱間隔：2000mm 以内

※ただし、風当りの強い場所に設置する場合は、柱間隔を 1000mm 以内で施工してください。

柱の位置とレベルを正確に合わせてください。

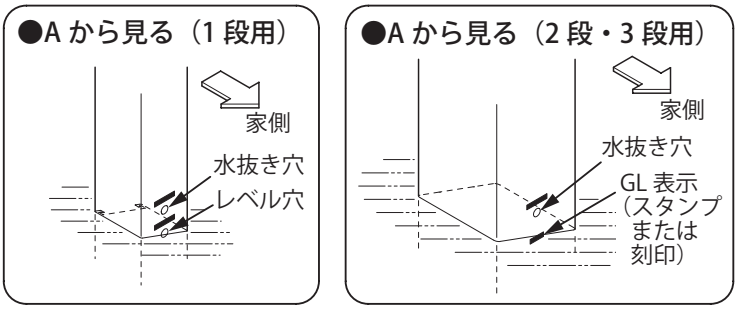
地下埋設物（給排水管等）に影響を及ぼさないように、柱位置を決めてください。

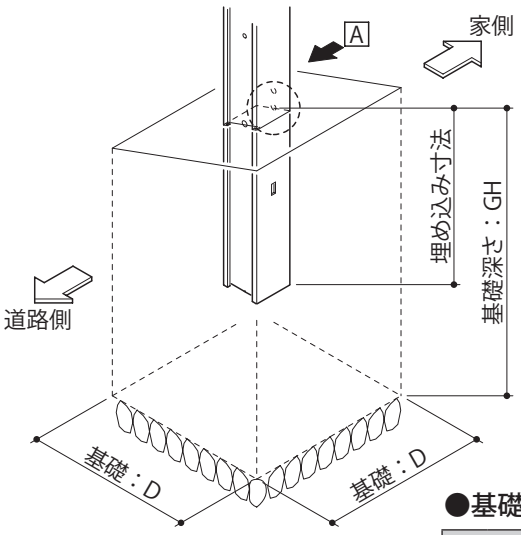
レベル孔を目安に、水抜き穴をふさがないように柱を埋め込んでください。

※水抜き穴をふさぐと、凍結破損の原因になります。

各柱の埋め込み寸法は、傾斜角度に係わらず一定です。

- 1 段用：150mm
- 2 段用：300mm
- 3 段用：800mm





●基礎寸法表 (mm)

呼称サイズ		基礎：D ×深さ：GH
2段用	H14	□ 350 × 600
	H16	□ 400 × 600
	H18	□ 500 × 600
	H20	□ 550 × 600
3段用	H21	□ 450 × 800
	H23	□ 500 × 800
	H25	□ 550 × 800
	H27	□ 600 × 800
	H29	□ 650 × 800

1－3 傾斜用下部ブラケットの仮止め

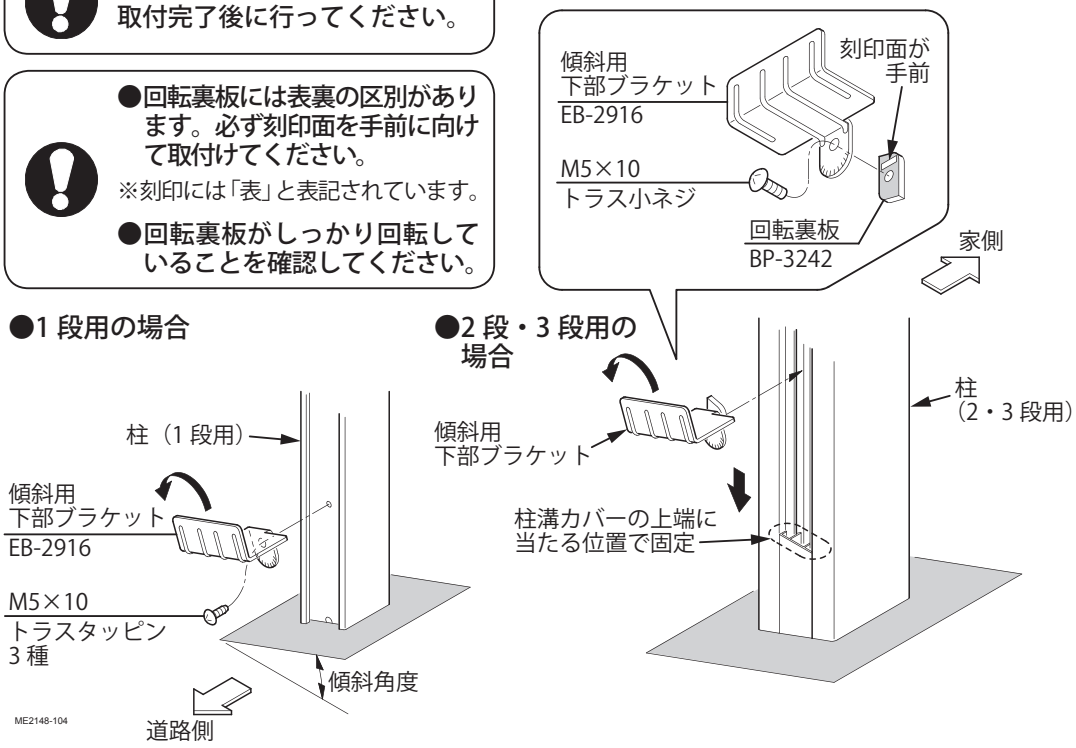
①下図を参照して、傾斜用下部ブラケットを自在柱に仮止めしてください。

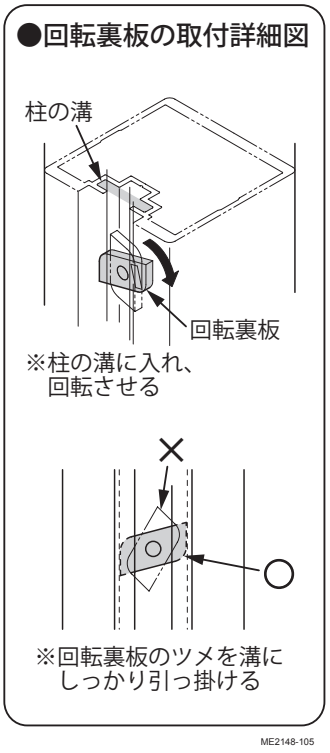
本締めは、後工程のフェンスの取付完了後に行ってください。

●回転裏板には表裏の区別があります。必ず刻印面を手前に向けて取付けてください。

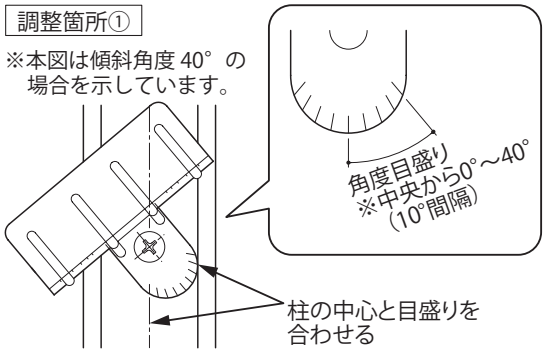
※刻印には「表」と表記されています。

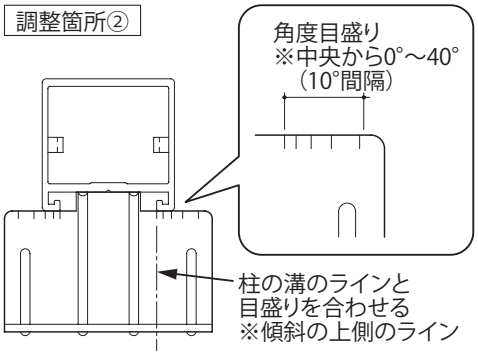
●回転裏板がしっかり回転していることを確認してください。



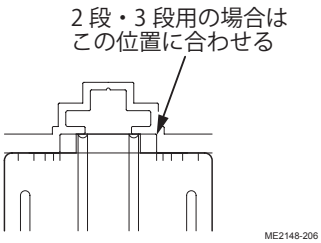


●傾斜用下部ブラケット





傾斜用下部ブラケットには、角度目盛り（10°間隔）があります。目安にしてください。



2 傾斜部材の切断
（※傾斜角度違い納まり・コーナー自在納まりの場合）

●傾斜部材は、傾斜角度が異なるフェンスの連結部に必ず使用します。
●傾斜角度に係わらず、傾斜部材の切断が必要です。
●出荷時、傾斜部材は分解された状態で梱包されています。切断後に組立ててください。

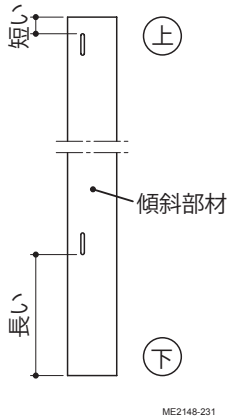
2－1 傾斜部材の切断

2-1-1 切断前の確認

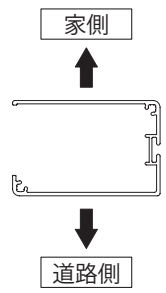
●傾斜部材には、上･下の区別があります。
※加工孔の位置で判断してください。
●傾斜部材には、家側・道路側の区別があります。
※形材の断面で判断してください。

●傾斜角度および柱仕様により、切断寸法が異なります。
●標準と下部ふさぎ板付きとでは、切断寸法が異なります。
※下部ふさぎ板については、「下部ふさぎ板・目隠しカバー」の施工説明書 [ME-2152] を参照してください。

●傾斜部材の上・下



●傾斜部材の家側・道路側

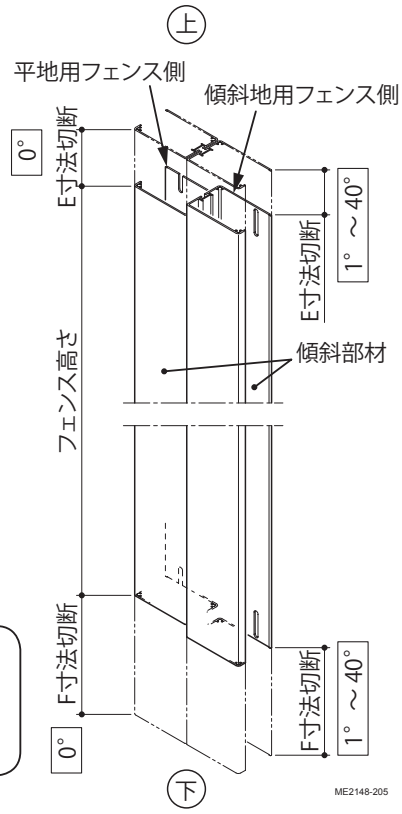


2-1-2 標準の場合

①下表を参照して、各傾斜部材の上下をそれぞれの傾斜角度の寸法で切断してください。

●切断寸法表 (mm)

傾斜角度（θ）	1 段用		2 段用		3 段用	
	E	F	E	F	E	F
0°	32	170	48	186	64	202
1 ～ 5°	29	167	46	184	60	198
6 ～ 10°	26	164	43	181	57	195
11 ～ 15°	24	162	39	177	52	190
16 ～ 20°	21	159	35	173	47	185
21 ～ 25°	18	156	30	168	40	178
26 ～ 30°	16	154	24	162	32	170
31 ～ 35°	13	151	18	156	22	160
36 ～ 40°	9	147	9	147	9	147



⚠注意
切断面で手や指を切らないよう、施工の際は取扱いに十分注意してください。

2-1-3 下部ふさぎ板付きの場合

①前ページを参照して、各傾斜部材の上部をそれぞれの傾斜角度の寸法で切断してください。

上部の切断方法は、標準の場合と同様に行ってください。

②下表を参照して、各傾斜部材の下部をそれぞれの傾斜角度の寸法で切断してください。

⚠注意

切断面で手や指を切らないよう、施工の際は取扱いに十分注意してください。

- **平地～上り傾斜となる場合は、平地側・傾斜地側とも水平に切断してください。**
- **平地～下り傾斜となる場合は、傾斜地側の下部を傾斜に合わせて斜めに切断してください。**

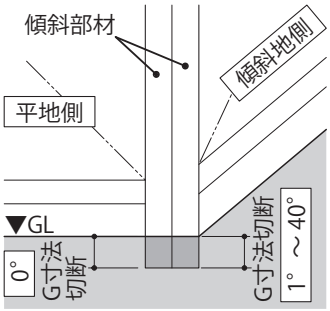
●切断寸法表（平地～上り傾斜） (mm)

傾斜角度（θ）	1 段用	2 段用	3 段用
	G		
0°	97	114	130
1 ～ 5°	97	113	128
6 ～ 10°	97	113	128
11 ～ 15°	97	112	126
16 ～ 20°	97	109	121
21 ～ 25°	93	104	113
26 ～ 30°	87	96	102
31 ～ 35°	79	84	87
36 ～ 40°	69	71	69

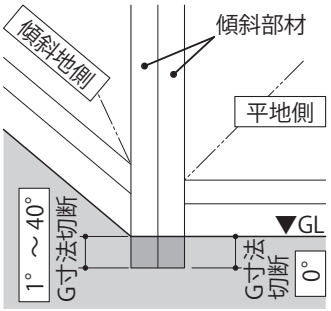
●切断寸法表（平地～下り傾斜） (mm)

傾斜角度（θ）	1 段用	2 段用	3 段用
	G		
0°	97	114	130
1 ～ 5°	94	108	127
6 ～ 10°	97	112	125
11 ～ 15°	97	112	125
16 ～ 20°	99	112	125
21 ～ 25°	99	112	122
26 ～ 30°	99	110	116
31 ～ 35°	99	105	109
36 ～ 40°	99	100	100

●平地～右上がり傾斜

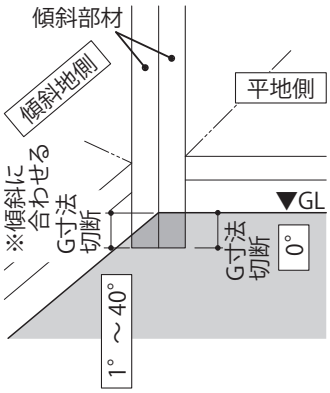


●平地～左上がり傾斜

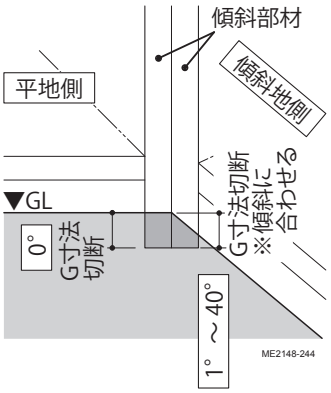


ME2148-245

●平地～左下り傾斜



●平地～右下り傾斜

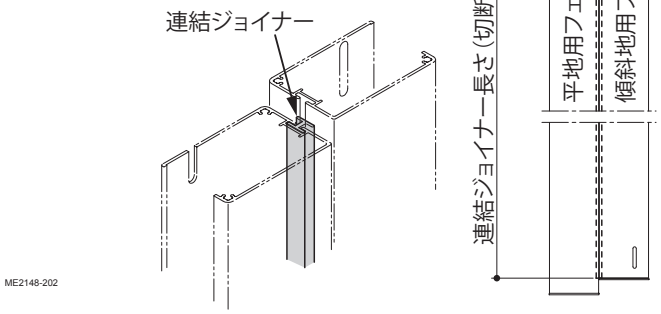


ME2148-244

2－2 ジョイント部材の切断

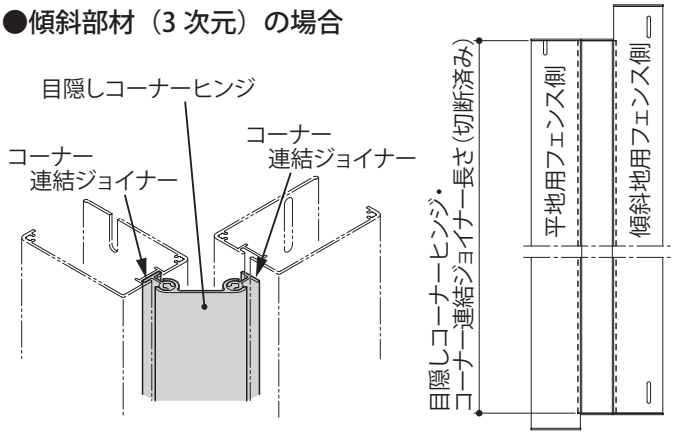
①図を参照して、ジョイント部材を抜き出し、現場合わせで切断してください。

●傾斜部材（2 次元）の場合



ME2148-202

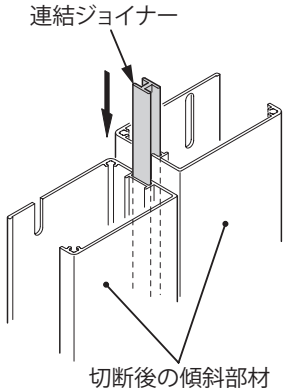
●傾斜部材（3 次元）の場合



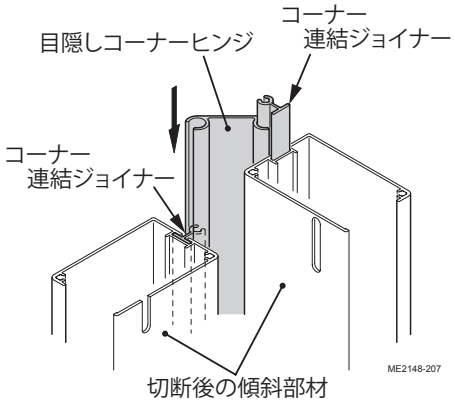
2－3 傾斜部材の組立て

①ジョイント部材を傾斜部材に差し込んでください。

●傾斜部材（2 次元）の場合



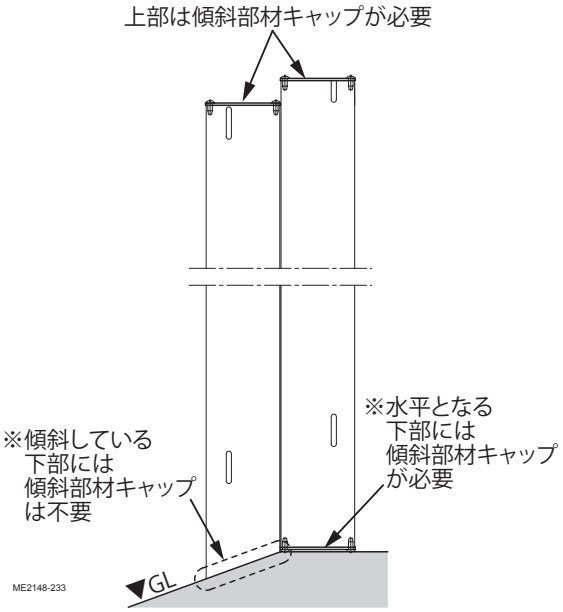
●傾斜部材（3 次元）の場合



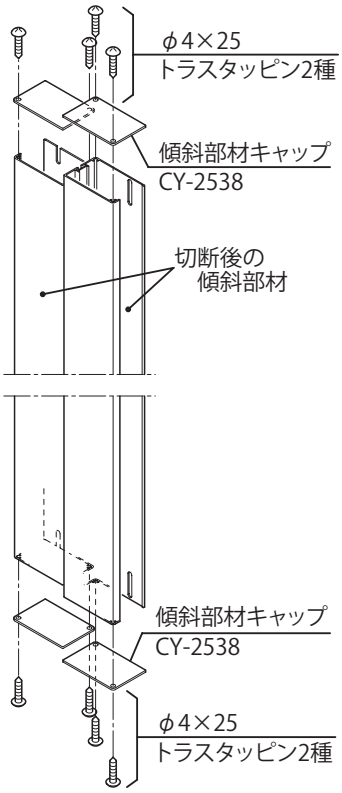
②傾斜部材キャップを傾斜部材に取付けてください。

下部ふさぎ板付きの場合は、傾斜している下部に傾斜部材キャップの取付けは不要です。

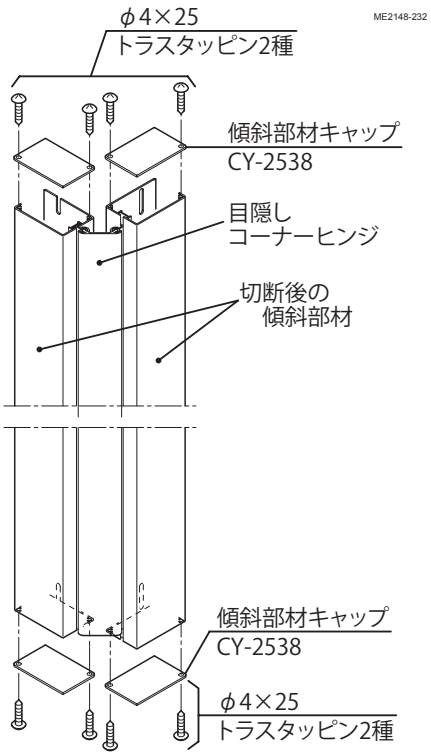
●下部ふさぎ板付きの場合



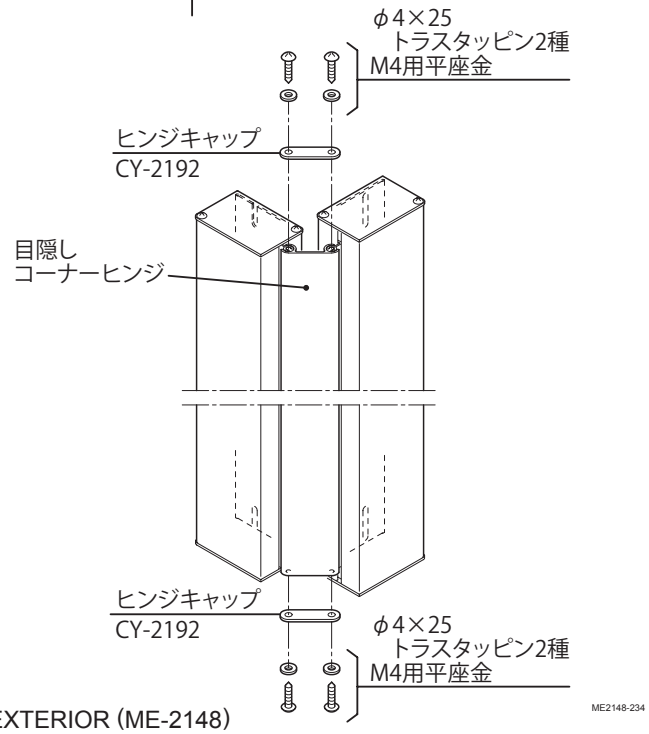
●傾斜部材（2 次元）の場合



●傾斜部材（3 次元）の場合



③傾斜部材（3 次元）の場合は、ヒンジキャップを傾斜自在部材の目隠しコーナーヒンジに取付けてください。



3 フェンス取付前の作業

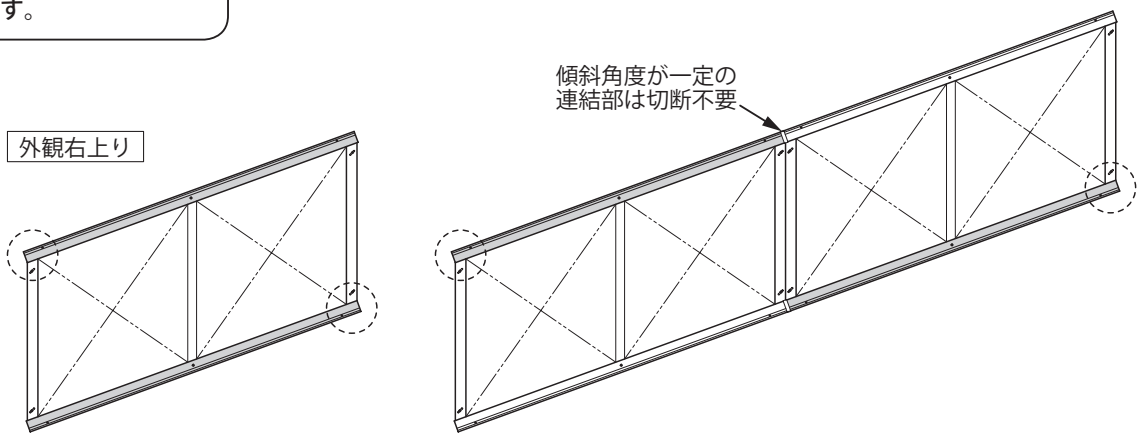
3－1 上・下胴縁の切断

傾斜の方向によって、胴縁の切断位置が異なります。

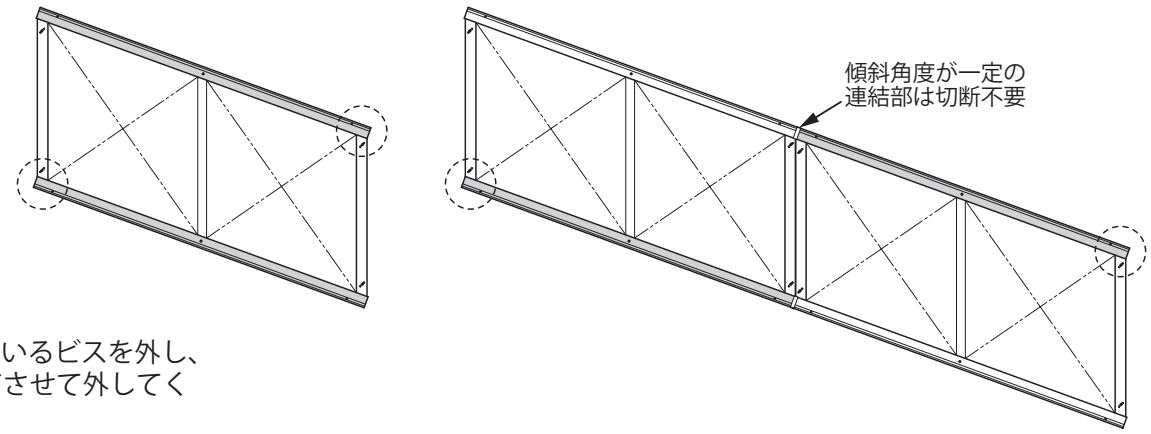
●上・下胴縁の切断位置

：切断位置

外観右上り



外観左上り



ME2148-301

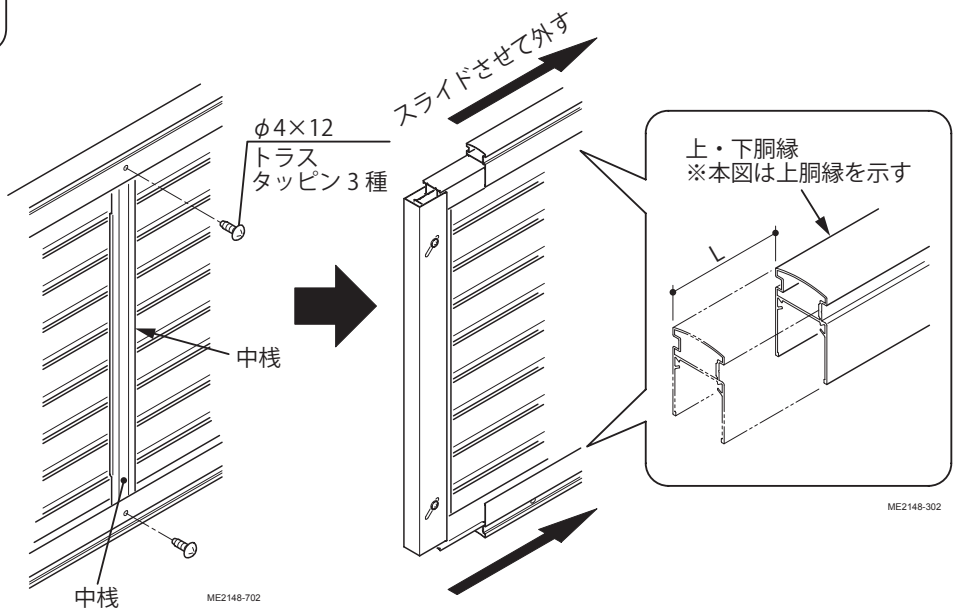
①上・下胴縁を固定しているビスを外し、上・下胴縁をスライドさせて外してください。

取付ビスはなくさないでください。
※組立ての際に使用します。

②下表を参照して、上・下胴縁を切断してください。

●切断寸法表 (mm)

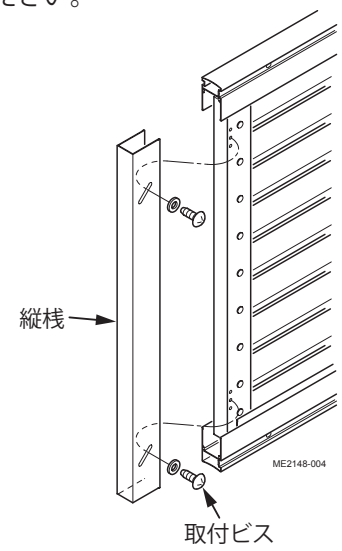
傾斜角度（θ）	L
0°	0
1 ～ 5°	3
6 ～ 10°	5
11 ～ 15°	8
16 ～ 20°	11
21 ～ 25°	14
26 ～ 30°	17
31 ～ 35°	20
36 ～ 40°	24



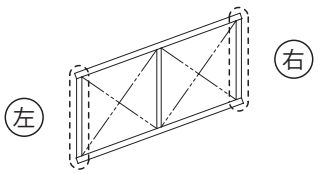
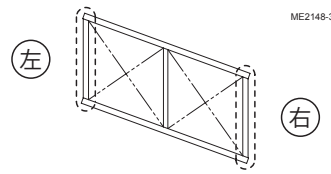
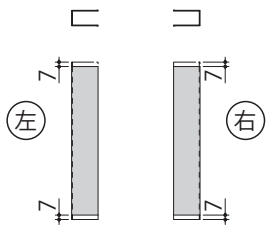
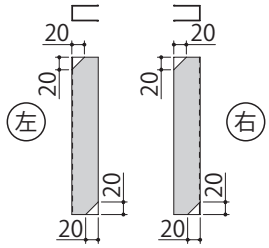
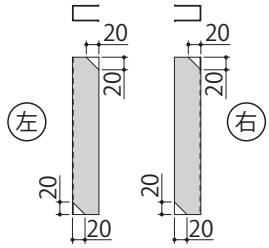
③上・下胴縁をスライドさせて元に戻し、再度、取付ビスで固定してください。

3－2 縦桟の切断

①縦桟の取付ビスを外し、縦桟を取外してください。



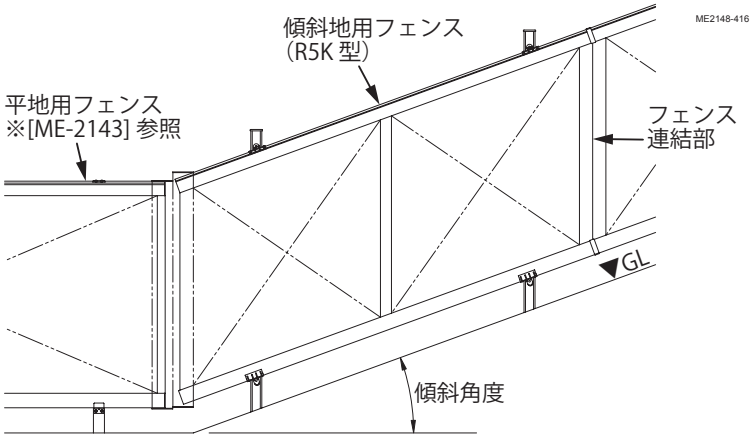
②右表を参照して、縦桟を切断してください。

傾斜角度（θ）	切断方法	
	外観右上り	外観左上り
		
0°～4°	※切断無し	
5°～20°		
21°～40°		

4a フェンスの取付け（※１段用の場合）

●２・３段用の場合は、「4b. フェンスの取付け（※２・３段用の場合）」を参照してください。

●フェンスには上下･左右の区別があります。
●フェンスは傾斜角度０°～４０°まで施工可能です。
●平地用フェンスの施工については、「形材フェンス」の施工説明書 [ME-2143] を参照してください。
※３ページの「施工前の確認」も合わせて参照してください。

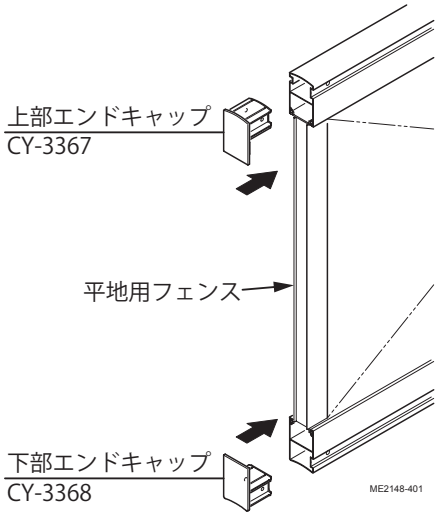


4a－1 平地用フェンスの施工

平地用フェンスには、傾斜部材側にも必ず上・下部エンドキャップを取付けてください。

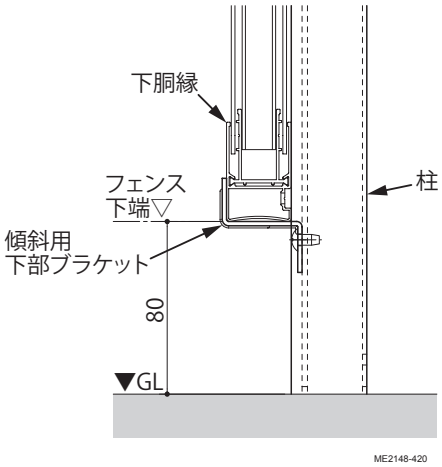
①上･下部エンドキャップを、平地用フェンスの上･下胴縁に差し込んでください。

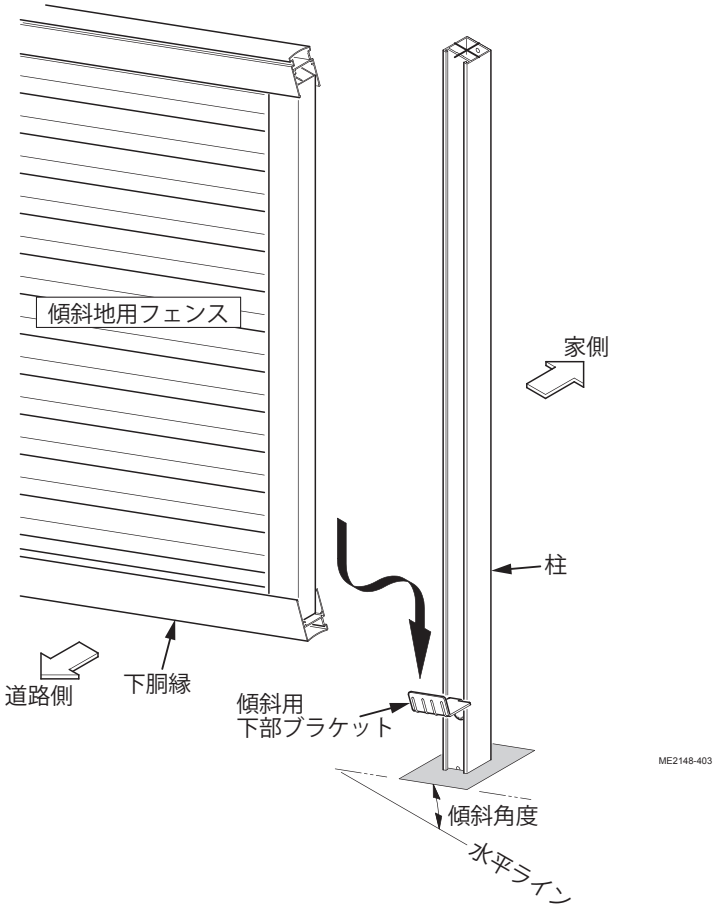
上・下部エンドキャップにはビス止めはしないでください。
※傾斜部材側の場合は、傾斜部材を固定するビス受けとして、後工程でビス止めします。



4a－2 フェンスの取付け

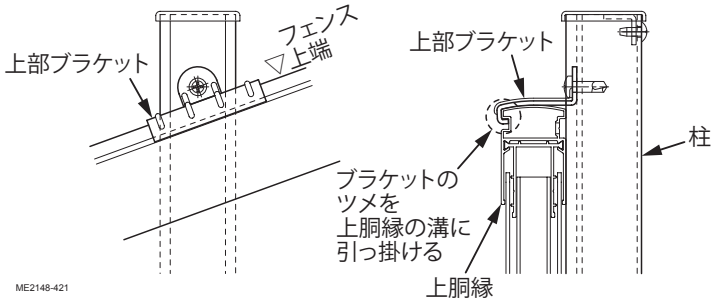
①フェンスを柱の傾斜用下部ブラケットに載せてください。

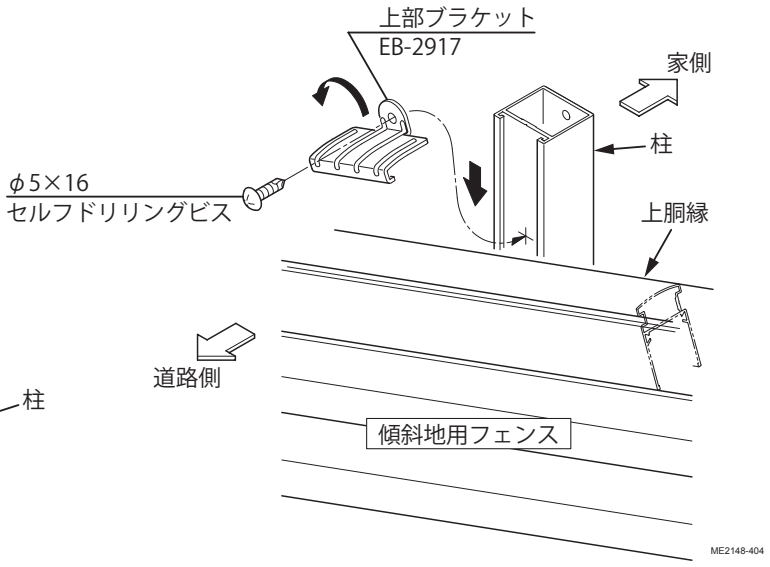




②上部ブラケットをフェンスの上端に合わせて仮止めしてください。

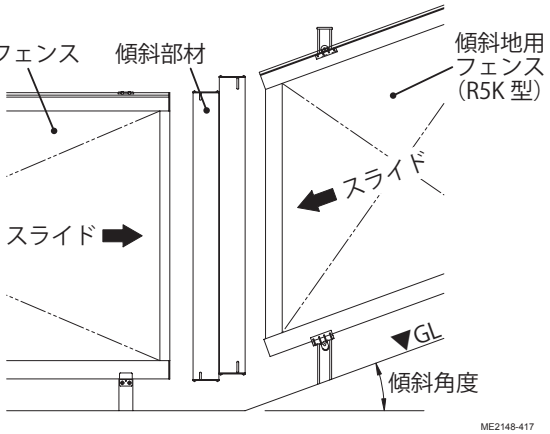
本締めは、後工程のフェンスの取付完了後に行ってください。





③フェンスを傾斜部材に差し込み、ビス止めして固定してください。

④位置調整後、各取付ビスを本締めしてください。



●傾斜角度違い納まりの場合

平地用フェンス
スライドさせる
傾斜部材
※切断済み
A
家側
スライドさせる
傾斜地用フェンス
道路側
傾斜角度
水平ライン
ME2148-405

● A（家側）から見る

平地用フェンス
道路側
傾斜地用フェンス
家側
φ4×16 トラスタッピン 1 種
M4 用平座金
ME2148-415
傾斜角度
水平ライン
φ4×16 セルフドリリングビス
M4 用平座金

傾斜部材を持ち上げながら、フェンスが止まるまで確実にフェンスを差し込んでください。

※傾斜部材は、両側からフェンスを差し込むまでは上下にスライドし、位置が固定されません。

●傾斜地用フェンス

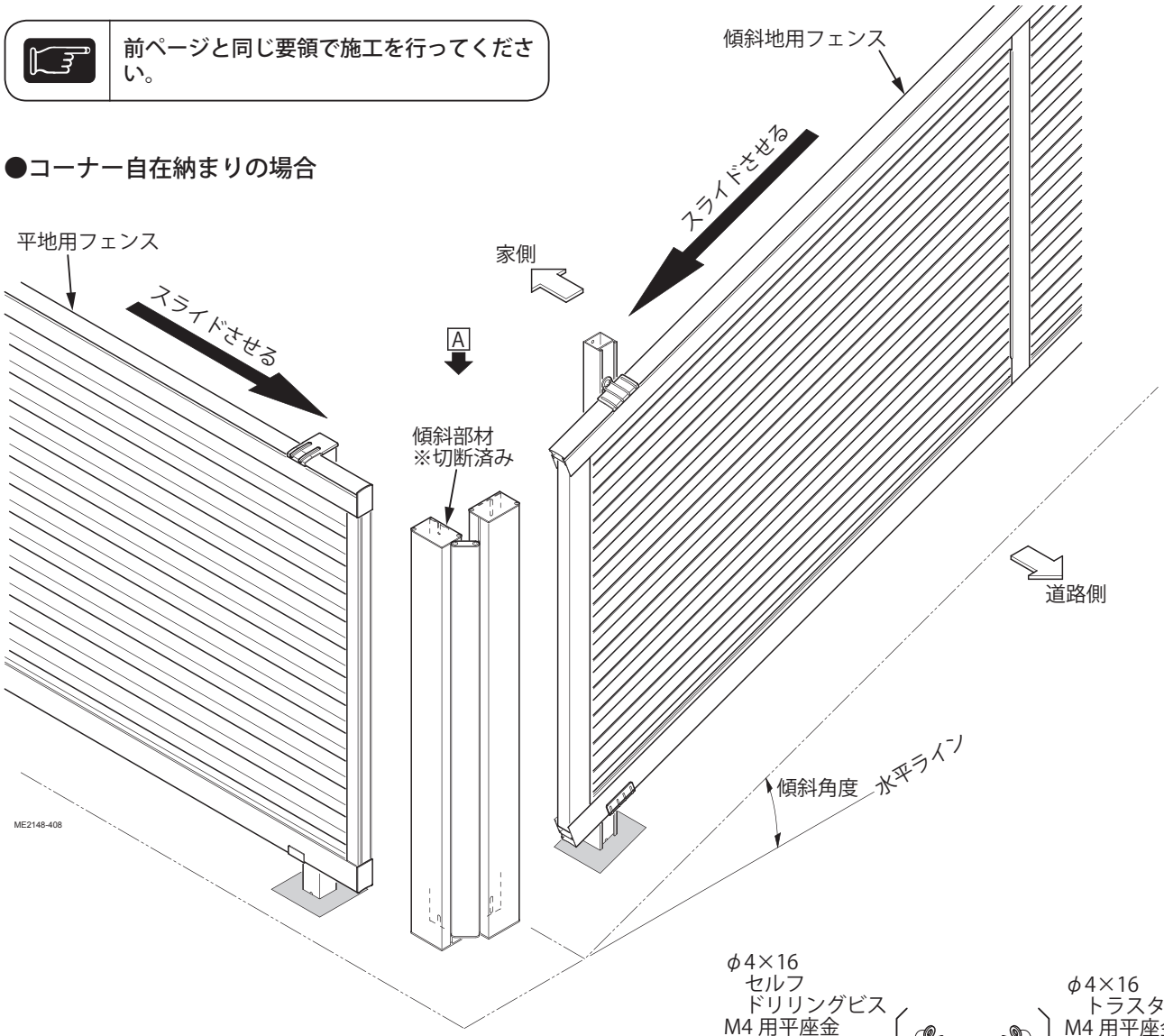
上・下胴縁
※本図は上胴縁を示す
ガイドライン上に
ビス止め
（セルフドリリングビス用）
ガイドライン

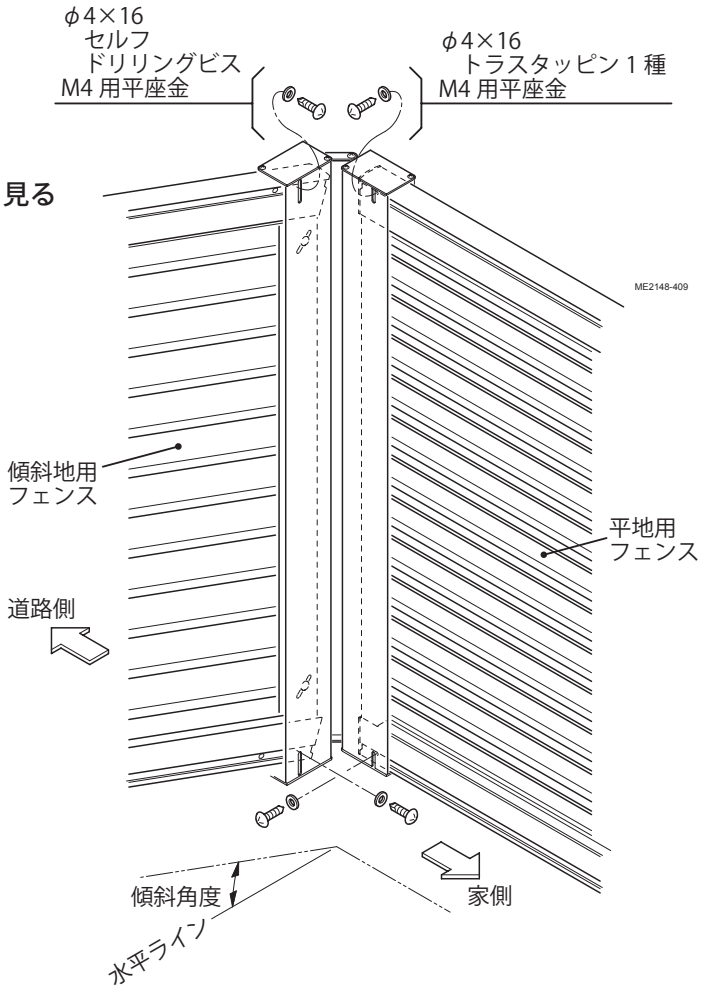
●平地用フェンス

上・下胴縁
※本図は上胴縁を示す
21
取付孔にビス止め
（トラスタッピン用）
上・下部エンドキャップ
※本図は上部を示す
ME2148-410

前ページと同じ要領で施工を行ってください。

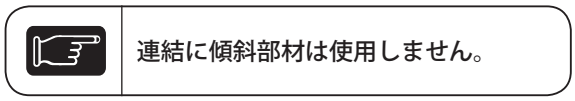
●コーナー自在納まりの場合





4a－3 フェンスの連結（※傾斜角度が一定の場合）

ME2148-406



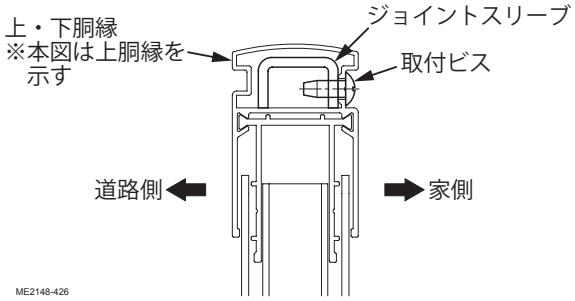
連結に傾斜部材は使用しません。

①ジョイントスリーブでフェンスを連結してください。

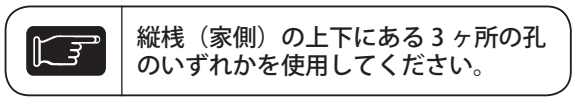
②ジョイントリングを、フェンスの連結部上・下にはめ込んでください。

ジョイントリングには、上・下の区別があります。

●ジョイントスリーブ部

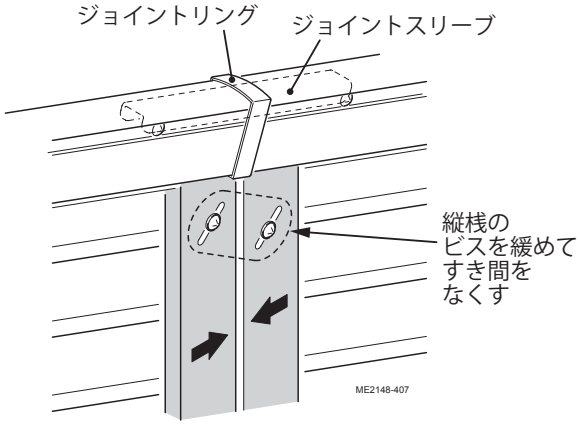


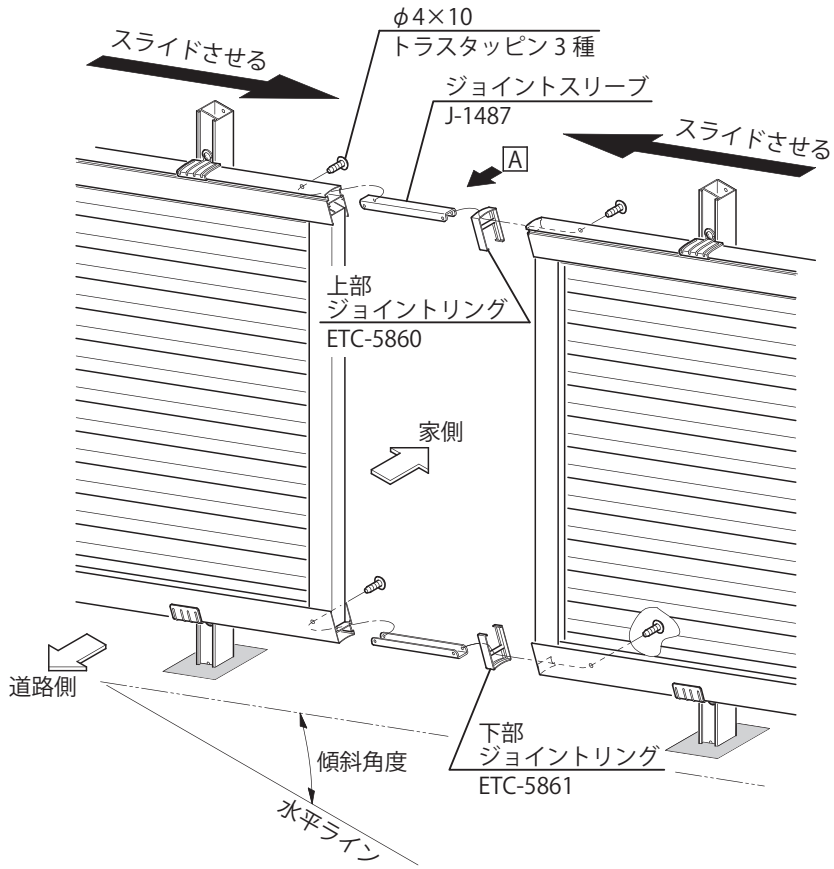
③連結部の縦桟のビスを緩めて、フェンス間のすき間をなくしてください。

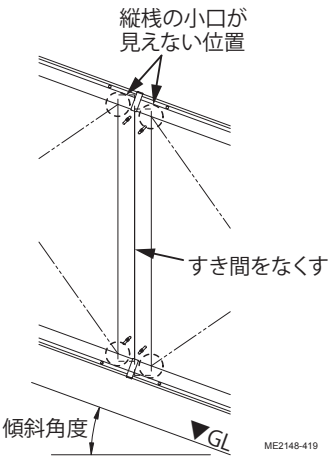


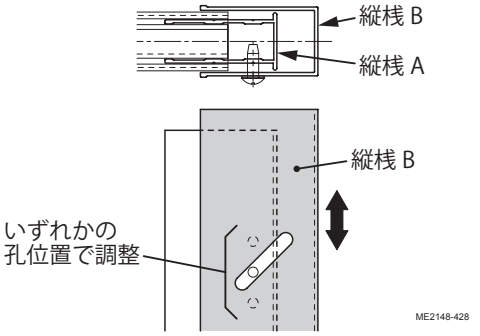
縦桟（家側）の上下にある 3 ヶ所の孔のいずれかを使用してください。

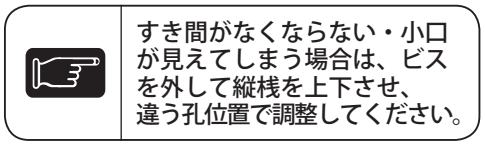
● A から見る







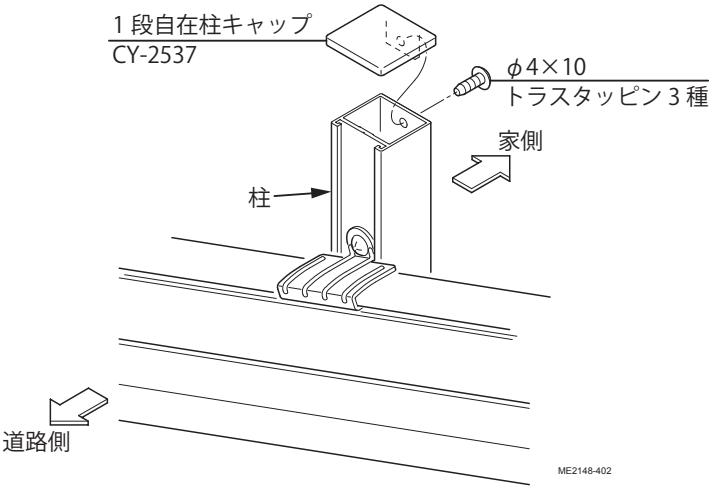




すき間がなくならない・小口が見えてしまう場合は、ビスを外して縦桟を上下させ、違う孔位置で調整してください。

4a－4 柱キャップの取付け

① 1 段自在柱用キャップを、自在柱に取付けてください。



4b フェンスの取付け
（※ 2・3 段用の場合）

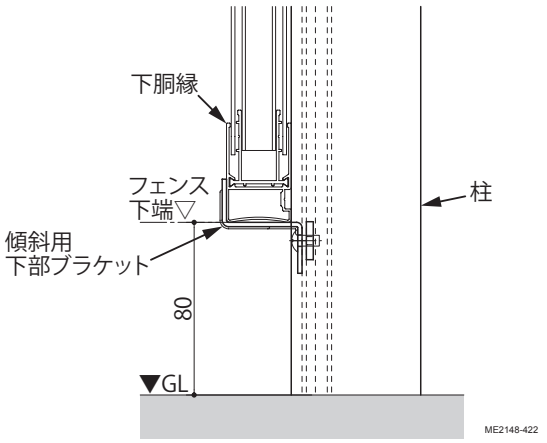
4b－1 平地用フェンスの施工

平地用フェンスには、傾斜部材側にも必ず上・下部エンドキャップを取付けてください。

①「4a-1. 平地用フェンスの施工」を参照して、同じ要領で施工を行ってください。

4b－2 フェンスの取付け

①「4a-2. フェンスの取付け」の「手順①」と同じ要領で、1 段目のフェンスを柱の傾斜用下部ブラケットに載せてください。

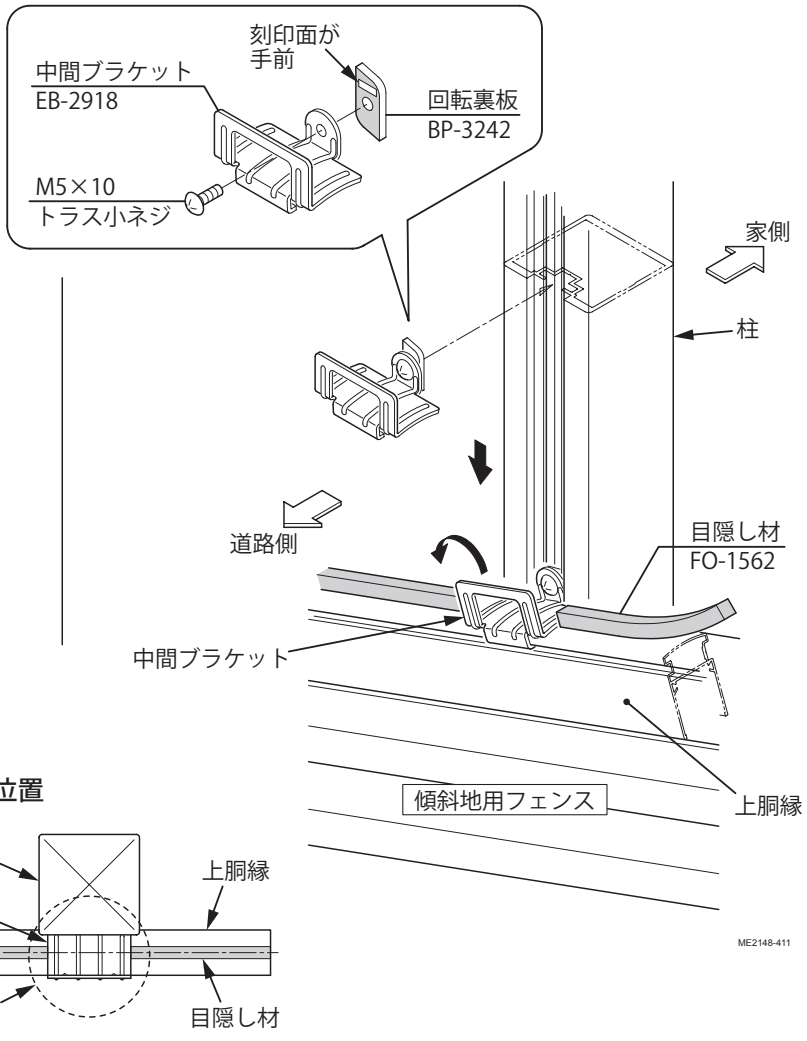


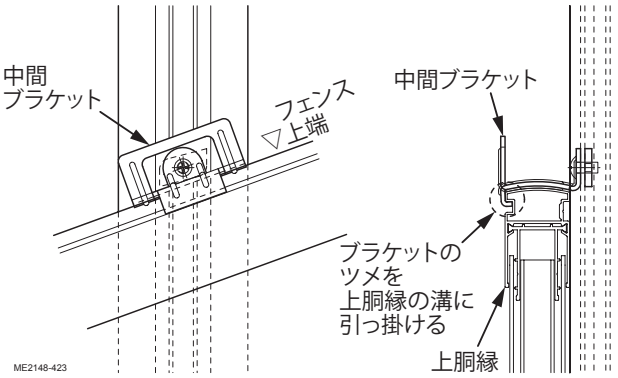
②中間ブラケットと回転裏板を仮組みしてください。

③中間ブラケットを、1 段目のフェンスの上端に合わせて固定してください。

上段フェンス取付前に、中間ブラケットの固定を完了させてください。

●回転裏板には表裏の区別があります。必ず刻印面を手前に向けて取付けてください。
※刻印には「表」と表記されています。
●回転裏板がしっかり回転していることを確認してください。



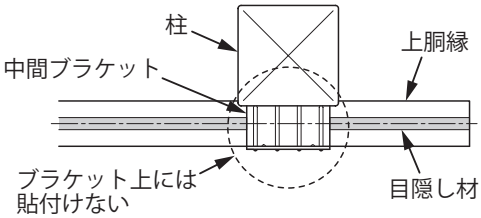


④目隠し材を、1 段目のフェンスの上面に貼付けてください。

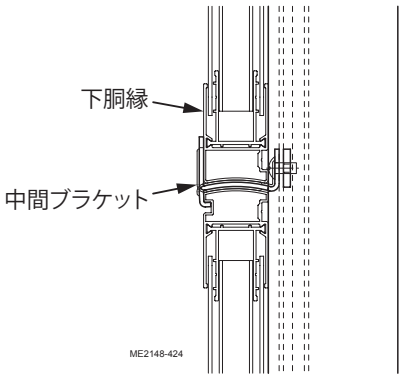
●ブラケット上には貼付けないでください。
●フェンスの上胴縁の中心位置に貼付けてください。

ME2148-427

●目隠し材貼付位置

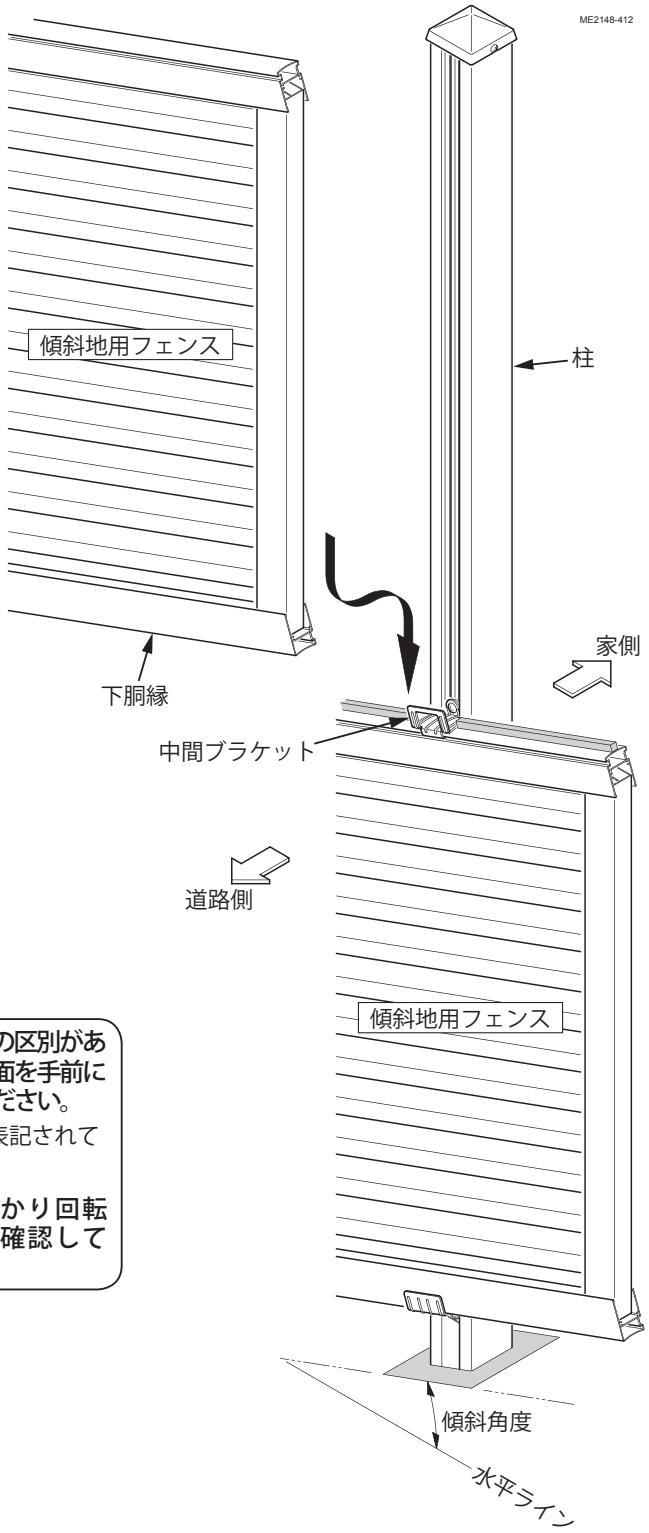


⑤２段目のフェンスを、柱の中間ブラケットに載せてください。



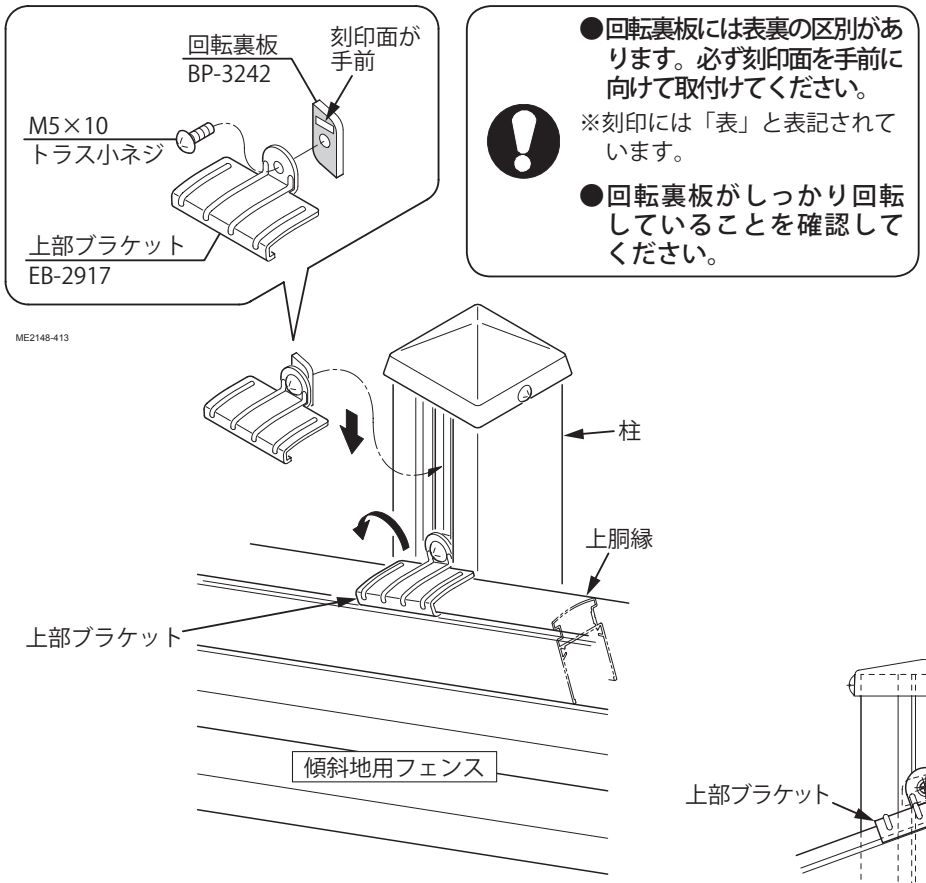
⑥３段用の場合は、「手順②～⑤」をくり返し、３段目のフェンスを載せてください。

上段フェンス取付前に、中間ブラケットの固定を完了させてください。



⑦上部ブラケットと回転裏板を仮組みしてください。

⑧上部ブラケットをフェンスの上端に合わせて仮止めしてください。

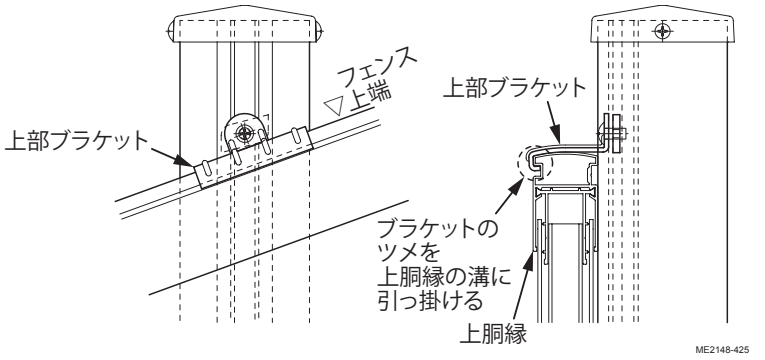


●回転裏板には表裏の区別があります。必ず刻印面を手前に向けて取付けてください。

※刻印には「表」と表記されています。

●回転裏板がしっかり回転していることを確認してください。

本締めは、後工程のフェンスの取付完了後に行ってください。

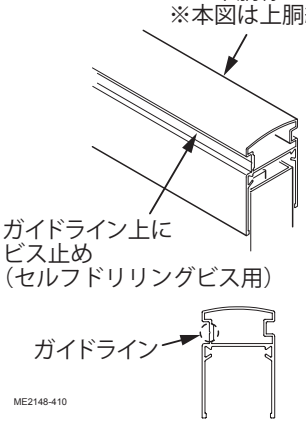


⑨フェンスを傾斜部材に差し込み、ビス止めして固定してください。

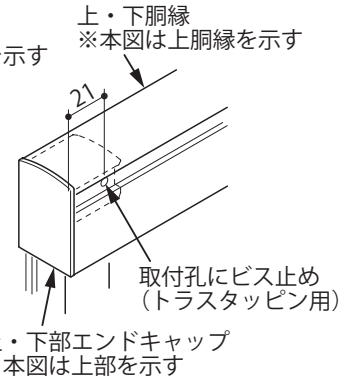
⑩位置調整後、各取付ビスを本締めしてください。

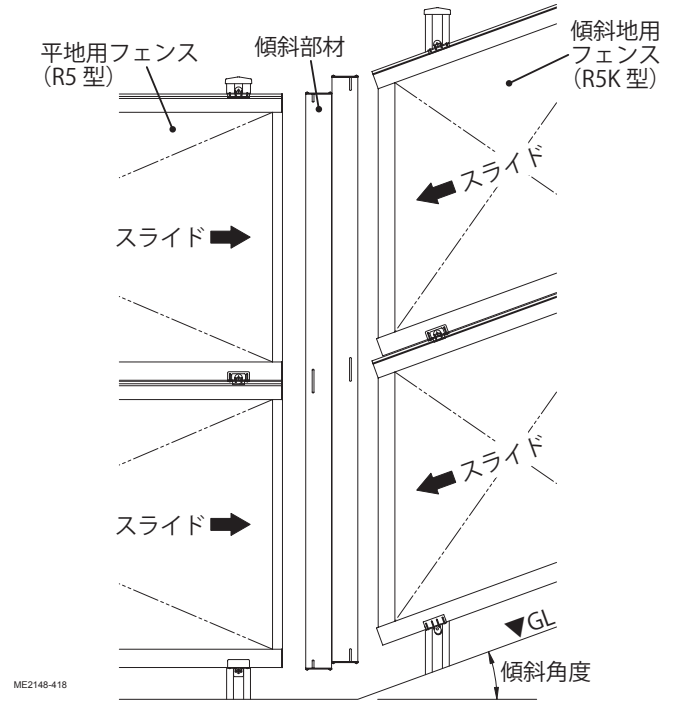
傾斜部材を持ち上げながら、フェンスが止まるまで確実にフェンスを差し込んでください。
※傾斜部材は、両側からフェンスを差し込むまでは上下にスライドし、位置が固定されません。

●傾斜地用フェンス

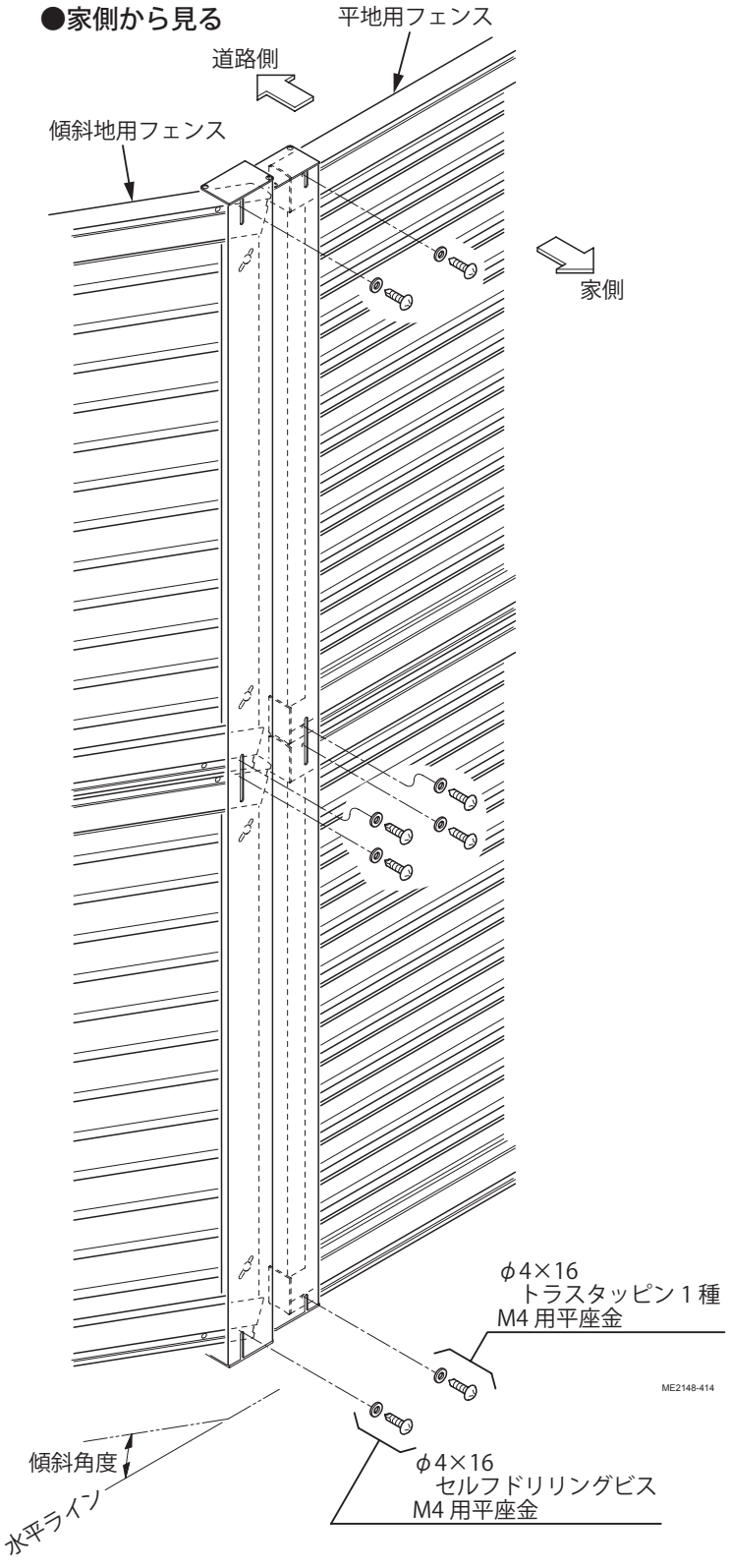


●平地用フェンス





●家側から見る



フェンスを連結する場合は、「4a-3. フェンスの連結」を参照して、同じ要領で連結させてください。

5 エンドカバーの取付け
（※傾斜地用フェンスが端部になる場合）

●傾斜地用フェンスが、端部納まりとなる場合に参照してください。

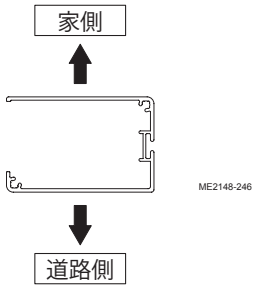
5－1 エンドカバーの切断

5-1-1 切断前の確認

エンドカバーには、家側・道路側の区別があります。
※形材の断面で判断してください。

標準と下部ふさぎ板付きとでは、切断寸法が異なります。
※下部ふさぎ板については、「下部ふさぎ板・目隠しカバー」の施工説明書 [ME-2152] を参照してください。

●エンドカバーの家側・道路側

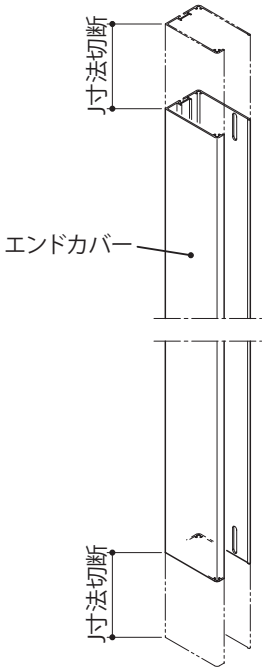


5-1-2 標準の場合

①下表を参照して、エンドカバーの上下をそれぞれの傾斜角度の寸法で切断してください。

●切断寸法表 (mm)

傾斜角度（θ）	1 段用	2 段用	3 段用
	J		
0°	170	186	202
1 ～ 5°	167	184	198
6 ～ 10°	164	181	195
11 ～ 15°	162	177	190
16 ～ 20°	159	173	185
21 ～ 25°	156	168	178
26 ～ 30°	154	162	170
31 ～ 35°	151	156	160
36 ～ 40°	147	147	147



⚠注意
切断面で手や指を切らないよう、施工の際は取扱いに十分注意してください。

5-1-3 下部ふさぎ板付きの場合

①「5-1-2. 標準の場合」を参照して、エンドカバーの上部を、それぞれの傾斜角度の寸法で切断してください。

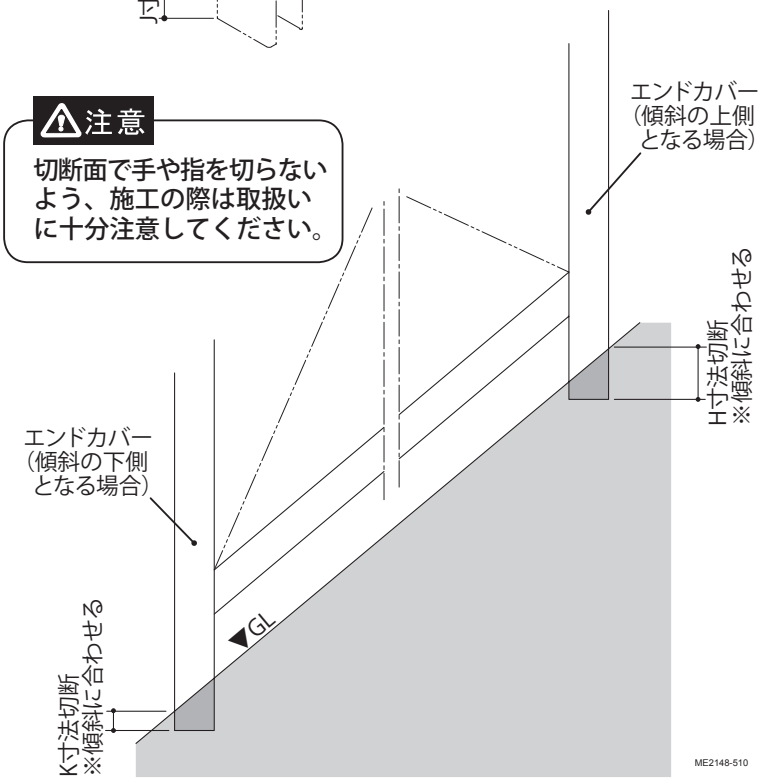
上部の切断方法は、標準の場合と同様に行ってください。

②下表を参照して、エンドカバーの下部をそれぞれの傾斜角度の寸法で切断してください。

●切断寸法表 (mm)

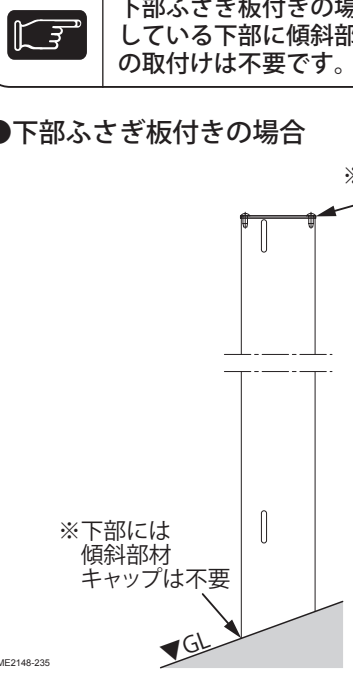
傾斜角度（θ）	1 段用		2 段用		3 段用	
	H	K	H	K	H	K
1 ～ 5°	94	87	108	103	127	120
6 ～ 10°	97	82	112	97	125	113
11 ～ 15°	97	75	112	90	125	104
16 ～ 20°	99	67	112	80	125	92
21 ～ 25°	99	56	112	68	122	78
26 ～ 30°	99	43	110	53	116	59
31 ～ 35°	99	28	105	33	109	37
36 ～ 40°	99	9	100	9	100	9

⚠注意
切断面で手や指を切らないよう、施工の際は取扱いに十分注意してください。

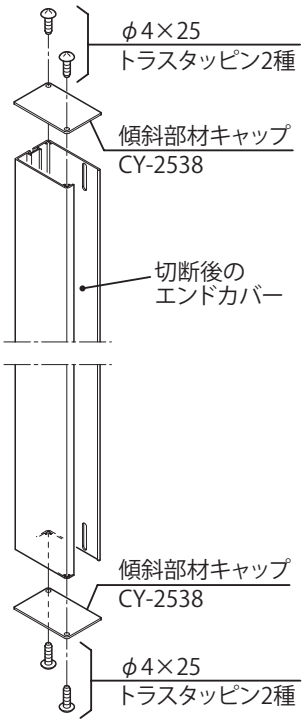


5－2 エンドカバーの取付け

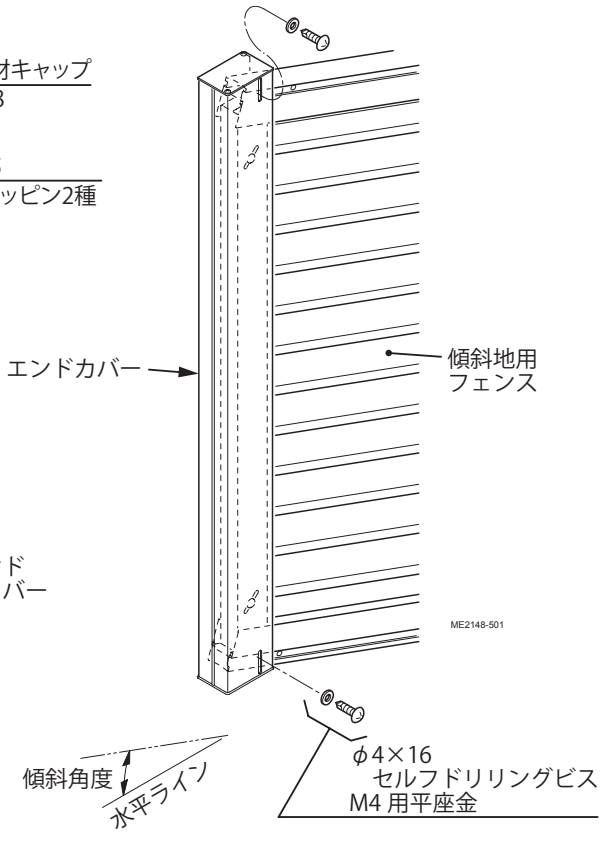
①傾斜部材キャップを傾斜部材に取付けてください。



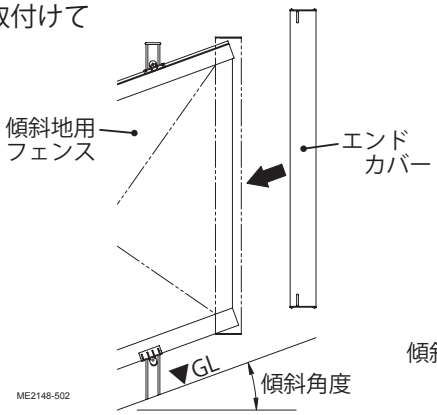
●下部ふさぎ板付きの場合



●家側から見る



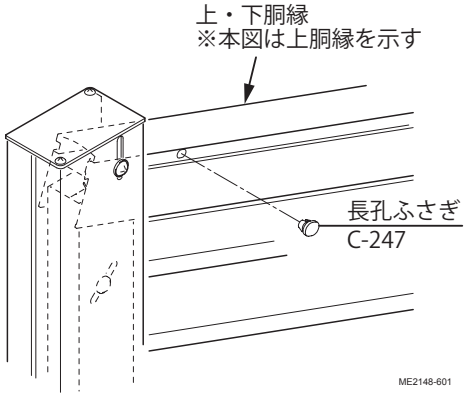
②エンドカバーをフェンス端部に取付けてください。



6 フェンス取付後の作業

6－1 長孔ふさぎの取付け

①長孔ふさぎを上・下胴縁の使用しない加工孔に取付けてください。



6－2 ビスの本締め

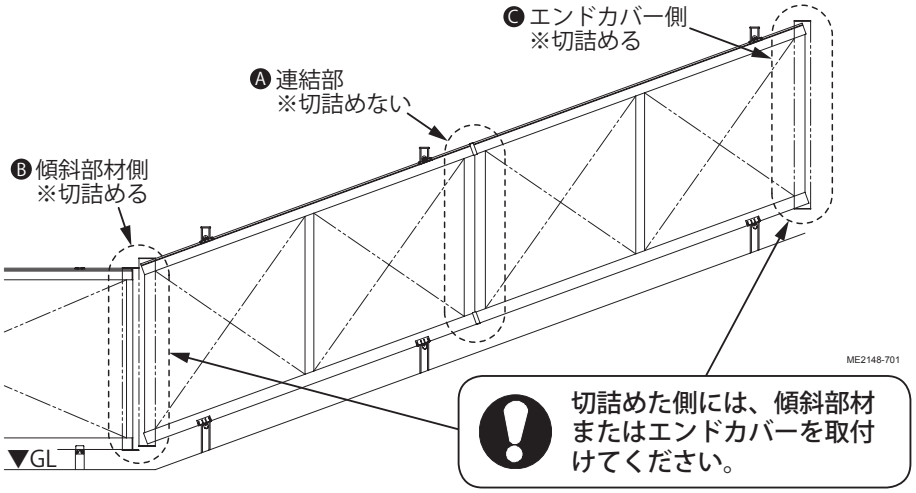
①全体の調整後、各取付ビスを本締めしてください。

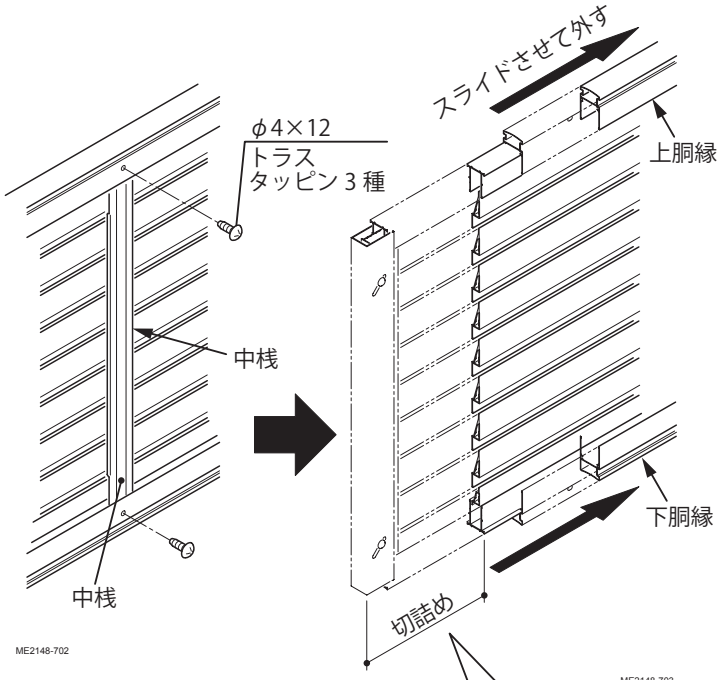
7 フェンスの切詰め

●現場寸法に合わせ、フェンスの切詰めを行う場合に参照してください。
●切詰め可能範囲：胴縁長さ 360mm 以上

7－1 フェンスの切詰め

●「Ⓐ連結部」は切詰めないでください。
●必ず、「Ⓑ傾斜部材側」または「Ⓒエンドカバー側を切詰めてください。





①上・下胴縁を固定しているビスを外し、上・下胴縁をスライドさせて外してください。

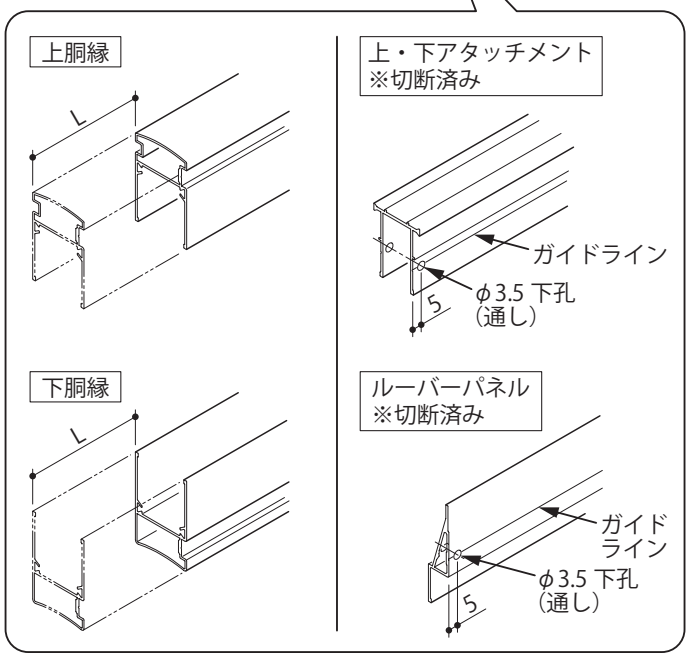
取付ビスはなくさないでください。
※組立ての際に使用します。

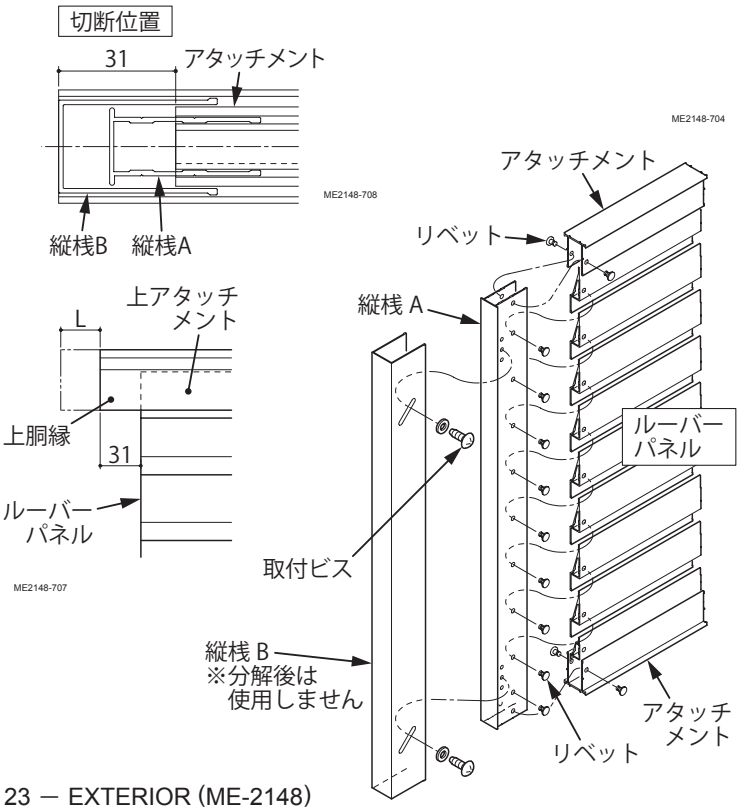
②上・下胴縁および上・下アタッチメント、パネルを切詰めてください。

上・下アタッチメント・ルーバーパネルは、上・下胴縁の端部より－ 31mm で切詰めてください。

③上・下アタッチメントおよびパネルのガイドライン上に、φ 3.5mm の下孔（通し）をあけてください。

④縦桟 A と上・下アタッチメント、ルーバーパネルを固定しているリベットをキリで外し、分解してください。



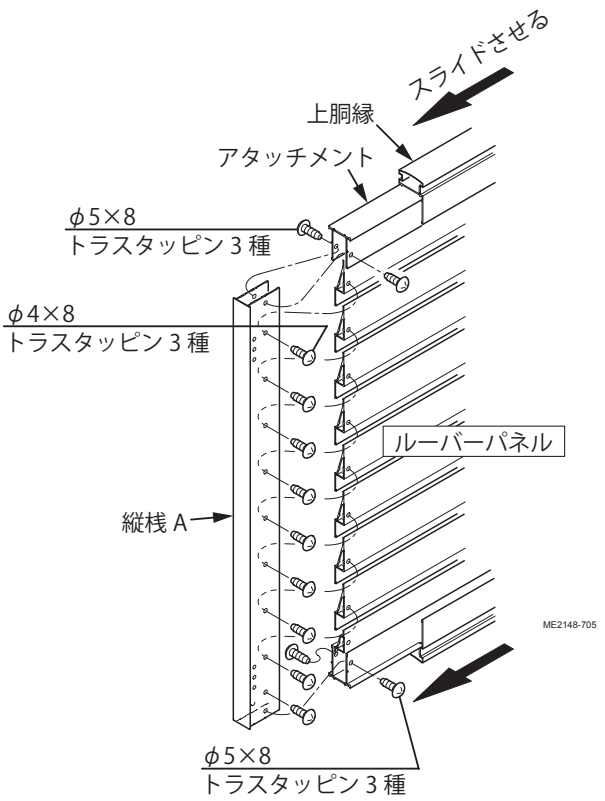


⑤縦桟 A をフェンス本体の上・下アタッチメントおよびパネルに取付けてください。

取付時、縦桟 B は使用しません。
※切詰後は、縦桟 B とパネルのビス頭が干渉するため、縦桟 B を再度取付けることができません。

取付けには「切詰め用ビスセット」内のビスを使用してください。
※ビスセットは、「傾斜部材（2 次元）」・「傾斜部材（3 次元）」・「エンドカバー」に梱包されています。

⑥再度、フェンスを組立ててください。



7－2 端部カバーの取付け（※オプション）

1 枚のフェンスを切断し 2 枚に分けて使用する場合に、フェンス端部に端部カバー（縦桟 A）を取付けてください。

切詰めた側は傾斜部材またはエンドカバー側にしてください。
※前ページ参照。

①フェンスを、任意の位置で 2 枚に切断してください。

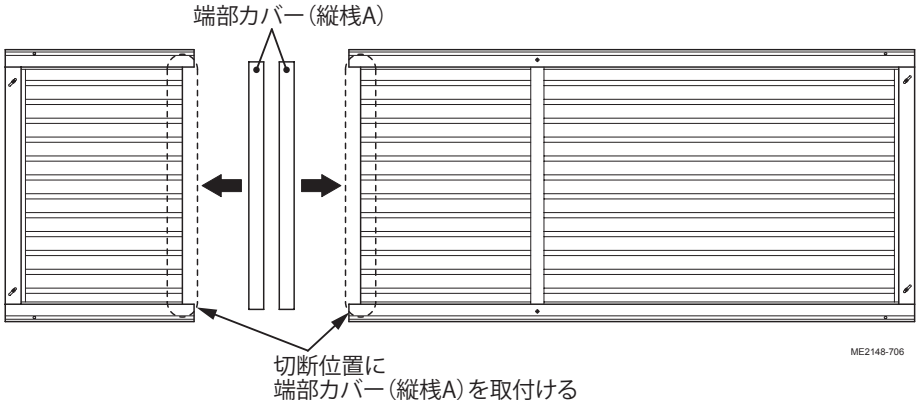
②「7-1. フェンスの切詰め」と同じ要領で、上・下アタッチメントおよびパネルを切詰め、下孔をあけてください。

③「7-1. フェンスの切詰め」と同じ要領で、再度フェンスを組立ててください。

取付時、縦桟 B は使用しません。
※切詰後は、縦桟 B とパネルのビス頭が干渉するため、縦桟 B を再度取付けることができません。

取付けには「切詰め用ビスセット」内のビスを使用してください。
※ビスセットは、「傾斜部材（2 次元）」・「傾斜部材（3 次元）」・「エンドカバー」に梱包されています。

傾斜部材またはエンドカバーを取付けると、取付ビスは見えなくなります。



■施工工事店様、販売店様へのお願い

●「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
●この施工説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

株式会社LIXIL この商品についてのご質問やご相談は右記の窓口にお問い合せください。 お客様相談室 0120-126-001
LIXIL インターネットホームページ http://www.lixil.co.jp